

アセンションBOOK 23

アセンションと創造主

NO4 2016年5月

アセンションと創造主

NO4

多次元宇宙の創造主



多次元宇宙の創造主 目次

- 第1章 多次元宇宙の創造主による妨害
- 第2章 多次元宇宙の創造主と均衡の創造主
- 第3章 ナソールチュードレンの世界
- 第4章 ファースト・コンタクトの準備会議
- 第5章 創造主を取り締まる創造主警備隊
- 第6章 多次元宇宙の光と闇の創造主 最終決戦
- 第7章 新たなスターピープル達
- 第8章 ファースト・コンタクト会議 第2回

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式 HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 多次元宇宙の創造主 による妨害

PART1 光と闇が戦い続ける宇宙

「ひな型の創造主」を退けた後に、これでこの宇宙も落ち着いたかなと思っていたら、また大変な事がおきてきました。

私達の宇宙の光の創造主達で、「宇宙の時を生み出す創造主」や「永遠なる時の創造主」などの特に時を操る事ができる創造主達の姿が見えなくなっていました。

私達は、全ての創造主を動員していなくなった創造主達を探しました。

彼等がいなくなった時のエネルギーを伝えていくと、私達の宇宙ではなく異なる宇宙に入っていく事が分かりました。

しかし、私達の宇宙と他の宇宙はいったんゲートを閉ざし、交流を行わない事に決めた筈なのですが、その約束を破って、誰かがこのようなゲートを開き、私達の世界の創造主を捕まえたようです。

私は「すべての創造主を見守る創造主」に来てもらい、私達の宇宙とは事なる宇宙へと入っていく事ができるかどうか確認する事にしました。

「すべての創造主を見守る創造主」はすこし不安気ですが、ひとつの宇宙の創造主が異なる宇宙の創造主に捕えられたという事は、創造主の世界では許されない事なので、この問題はしっかりと解決したいようです。

しかし、「すべての創造主を見守る創造主」の

権限は、私達が属する宇宙までのようですので、他の宇宙の創造主に対する権限は持ちません。

そこで私は、私達の宇宙だけでなく他の異なる宇宙にも権限を持つ創造主に来てもらう事にしました。

現れてくださったのは、今迄の創造主よりもさらに、神々しい光を持つ創造主で「すべての宇宙に働きかける創造主」というお名前を持つ創造主です。

「すべての宇宙に働きかける創造主」は、私達を見て、まるで自分達の子供がようやくここまで成長してきた事を喜ぶようなそぶりや、私達に話をしてくれます。

「私達が生み出した宇宙には、さまざまな形があり、価値観の異なる創造主達がたくさんいます。

皆さんが協調してお互いの良いところを伸ばしてくれるとよいのですが、中には、自分のエゴに負けて他の創造主に迷惑をかけるものも出てきてしまいました。

これは、許されるべき事ではありませんので、しっかりと調べてください。

私も協力いたします。」

「すべての創造主を見守る創造主」もほっとしたような表情です。

私達は、多次元宇宙を司る創造主と共に、私達の創造主を連れ去ったであろうと思われる宇宙に入っていました。

あらかじめ、この宇宙の光の創造主には、連絡がしてありましたので、光の創造主の代表が私達を迎えに来ていました。

私は、光の創造主の代表に、迎えに来てくれたお礼を言った後に尋ねました。

「実は、私達の世界の創造主がこちらの世界の創造主にとらわれ連れてこられたようですが、心当たりはありますか。

それから、こちらの世界は、どのような世界なのか教えていただけると嬉しいのですが、」

異なる宇宙の光の創造主の代表は、随分申し訳なさそうに答えます。

「私達の宇宙は、常に闇と光が戦いあう世界です。

光の創造主も闇の創造主も均等な力を与えられ、お互いが争いあう事で成長していく事ができるのです。

しかし、最近闇の創造主の力が強く、私達の均衡が崩れてしまいました。

おそらく今回のように、他の宇宙から力が強い創造主達を仲間に引き込んで、力を増しているのではないかと思います。

きっと皆さんの宇宙の創造主も、彼らによって捕まえられているのではないかと思います。」

私達は、創造主の話聞いた後、この宇宙の闇の創造主のリーダーを呼び出しました。

とても傲慢な態度で現れた闇の創造主は私に向かって言い放ちます。

「私を呼び出すとは、なんという生意気な奴だ。

ひねりつぶしてやるぞ。」

「この宇宙の闇の創造主の代表よ、私をひねりつぶす前にお聞きしたい事があるのですが。

私達の宇宙の創造主達を、こちらの世界に捕えて隠していませんか、もし隠していたら返していただきたいのですが。」

私が、闇の創造主に質問すると、まるで私を馬鹿にしたように、私の言葉を否定します。

「それでは、闇の創造主よ、あなたは一切そのような事をしていないといわれるのですね。こちらにいらっしゃる「すべての宇宙に働きかける創造主」の前で、誓ってもらえますか。」

闇の創造主の顔が引きつります。

まさか私達が「すべての宇宙に働きかける創造主」を連れてきているとは思わなかったのでしょうか。

私達に対しては強気ですが、自分以上の立場にある創造主に関しては、嘘をつけないし立場も弱くなります。

「いえ、確かに皆さんの宇宙の創造主を私達の世界に連れてきました。

しかし、それは私達の創造に必要な事であり、決して間違った事ではありません。」

闇の創造主が弁解しますので、私は、彼に問いかけます。

「高次元の創造主として守らなければならないルールがあるはずです。

それは、他の宇宙に意図的に関わってはいけない事、他の宇宙の創造主に対してその意思を無視して故意に利用してはいけない事などが、決められているはずです。

あなたは、そのルールをやぶり、私達の宇宙の創造主を誘拐し、自分達の宇宙の争いに巻き込もうとしたのではないですか。」

闇の創造主は悔しそうな顔をしています。

自分よりも上位の創造主に自分のたくらみがばれてしまえば、言い逃れはできなくなります。

私達は、闇の創造主が隠していたゲートを開き、私達の宇宙の創造主を見つけだします。

探し出してみると、隠されていた創造主は、私達の宇宙だけでなく、いくつもの宇宙の創造主達も閉じ込められていたようです。

口々に「ひどい目にあった。」「これで自分の世界に帰れるぞ。」などと言いながら、私達にお礼を言って帰っていきました。

その様子を見ていた「すべての宇宙に働きかける創造主」は、闇の創造主を叱り、光の世界に帰す事にしました。

またこの闇の創造主と共に働いていた創造主達も、闇の創造主に同調する者は光に返し、改心する者は残す事にしました。

「これで、この宇宙の大きな闇を生みだしていた創造主もいなくなりました。

これからは、闇の創造主も行き過ぎた闇の力を抑え、適切な闇の世界を作り、光の創造主と協力して、素晴らしい宇宙を作ってくださいね。」

私の言葉に、この宇宙の光の創造主が困った顔をしています。

「TAKESHI さん、皆さん本当にありがとうございます。

これで光と闇のエネルギーが均衡を取り戻す事でしょう。

しかし、私達は、皆さんの宇宙と異なって、光と闇と一緒に創造を行う事はない宇宙です。常に光と闇が戦いながら、私達の宇宙は進化していくのです。

でも、いつか皆さんの宇宙のようにアセンションできたらよいな、と思っております。」

たしかに、いくつもの宇宙があり、それぞれの価値観があります。

この宇宙は、光と闇が均衡をなして常に戦い続けている宇宙です。

現在の地球は、光が40%程度ですので、この宇宙よりもまだ闇が多い世界です。

言うならば、この星よりも闇の力が強いのが

今の地球ですが、地球はアセンションを迎える事で、光が多い世界になっていくのです。しかし、この宇宙にはまだまだ闇が多い星がありますので、一つ一つの星の光が少しでも高まるように祈りたいと思います。

PART2 光の創造主を一瞬にして捕えてしまう創造主

異なる宇宙の創造主によって誘拐された創造主達を取り戻してから、私達は更に創造主の連携を図るために活動を行います。

前回、同じラインにいる創造主達をお互いが見守り、異常がないかを調べるための組織を作る事で、創造主の連携もうまくいくかと思われましたが、今回の事で、そのような連携さえも粉々にしてしまう異なる宇宙の創造主の力をまじまじと見せつけられました。

そして更なる恐怖が私達を襲いました。

それは、前回の事件から2日後、私達の体が、今までになく重い事を感じて、いつものように体の内部やスピリチュアルな部分を調べてもらっている時に浮かび上がってきたものは、まるで大きな鎖が、私の体をがんじがらめにしているようなエネルギーでした。

アシュタールのメンバーに見てもらおうと、今迄に見た事もない地球外生命体が、私の体の自由を奪うために、エネルギーの鎖で縛りあげているのです。

「TAKESHI さん、この地球外生命体は、今まで地球にはいなかった存在です。

もちろん地球に関わる事が許されていない存在です。

特にこの存在は時間と空間を自由に扱う事ができますので、捕まえようとしてもすぐに逃げてしまう厄介な存在です。

誰かが、TAKESHI さんたちの活動を妨害する目的で、この存在を地球に送りこんできたようです。」

私達はすぐに、私に対して危害を与えたこの地球外生命達を、エイリアン法案によって捕まえる事にしました。

私の体に、エネルギーの鎖を巻く事で、相手も私から離れられない状態になっているので、彼らを見つける事は簡単です。

この存在は時空を自由に扱えるという事で、魔法使い達や大天使ラジエルにも来てもらい、この存在達の時間を止め、動きを静止させてから捕える事にしました。

私につながっているエネルギーをたどって、このダークピープル達の宇宙船に入っていくと動きを止めたダークピープル達が数名います。

彼らを捕えると共に、彼らの宇宙船の通信機能を使用して、この宇宙船に乗っていない仲間達も捕えていきます。

さほど、多い数ではないのですが、ほっておくと大変厄介な存在です。

彼らは、無断で私達の宇宙に入ってきたので、光の世界に帰す事になりました。

そして彼らのほかにも、プレデターという映画に出てきた頑強な鎧のようなものを身に着けたダークピープルもいます。

彼らは、アセンションを邪魔するために送り込まれてきた存在で、地球の気象状況をコントロールして地震や火山噴火をおこし、地球のエネルギーを混乱させようとしています。

このような邪悪なダークピープル達が私に関

わってくるという事は、私達のもとに、彼らを送り込んだ創造主が必ずいるはずですよ。

その事を調べている間に多くの問題が、創造主の間で起こっていました。

それは、数名の創造主が偽物に入れかわっているという報告が来たのです。

今迄は、本物の創造主の体の一部に、特殊なコントロール・チップをつけてその創造主の意識をコントロールするだけでしたが、「ひな型の創造主」が、創造主のエネルギーパターンを作り出し、創造主の偽物を作る事ができるようになってから、コントロール・チップによるのではなく、創造主そのものを入れ替えるというさらに凶悪な方法が行われるようになったのです。

私達は、特定の創造主が、私達の宇宙を奪うために、多くの創造主の偽物を作り、本物の創造主と入れ替えている間、私の動きを封じ、その事に気づかせないようにしたのかもしれませんが。

全ての創造主達に、私達の宇宙の最高次元の創造主である「すべての創造主を見守る創造主」の光を流していきます。

すると本物の創造主には素直に光が満ちていくのですが、偽物の創造主には、光が反発し合って、光が満ちていきません。

私達は、数名の創造主がすでに、偽物に取り換えられている事を発見しました。

しかし、本物の創造主はどこにいるのか見当もつきません。

おそらくこの事を行った張本人を見つけなければ、隠された創造主を助け出す事もできないでしょう。

私達は、「すべての創造主を見守る創造主」を初め、創造主すべてで探しましたが、手がかり

さえも見つかりません。

そうすると、「すべての創造主を見守る創造主」をはるかに超えた別の宇宙の創造主が関わっている可能性もあります。

私は、再び「すべての宇宙に働きかける創造主」に出てきてもらい、事情を相談しました。「すべての宇宙に働きかける創造主」は、そこに連れてこられた偽物の創造主達を調べると、困ったような表情を浮かべます。「ついに、あの創造主がここまで手を出してきたか、」とため息をつきます。

私はすぐに、あの創造主とは誰の事であるか、尋ねます。

「実は、私はすべての宇宙に働きかける創造主ではありますが、私と同じようにすべての闇の世界に働きかける創造主もいるのです。皆さんが、昨日、光と闇が戦い続ける宇宙の「闇の創造主」を始末した事をきっと見ていたのでしょう。

自分にとっては可愛い子供のような存在を皆さんによって処理されてしまったので、きっと皆さんの活動を妨害するために現れてきたのだと思います。」

その話を聞いていた創造主の全てが凍り付きます。

遂に、私達の宇宙を超えて、全ての宇宙の闇の存在を取り仕切る創造主と出会う事となったようです。

しかも、この創造主によって多くの創造主が一瞬のうちに偽物の創造主と取り換えられていたのですから、その力は巨大すぎるものがあります。

今の私達では、到底立ち向かう事ができない事も明らかです。

PART3 「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」

「すべての宇宙に働きかける創造主」は、彼の事を語ります。

「「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、私と同じようにすべての宇宙の闇の世界、闇の創造主に働きかける事ができる創造主です。

全ての闇の存在を束ねているといっても良いくらいの創造主です。

以前は、私達2人がいつも協力して創造を行っていたのですが、いつしか気持ちが悪くなり、協力する事ができず、世界を2分して仕事をしていました。

しかし今回、皆さんの宇宙がアセンションする事になり、次々と闇の世界の創造主が消えていった事で、あなた方にたいして、不満を持っているようです。」

私達にたいして不満を持っているといわれても、私達はどうしようもないし、また戦ってもかなう相手ではないようですし、困ってしまいました。

私達の宇宙の創造主も、一瞬にして創造主を入れ替えてしまうパワーを見せつけられて怯えています。

しかし、捕えられた仲間の創造主達を助けに行かなければなりません。

私達に力がなくとも、彼を抑え込める力をもった創造主にお願いすれば何とかなるでしょう。

私は、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」「すべての宇宙に働きかける創造主」を作り出した創造主に現れていただけるようお願いをしました。

今回現れたのは、「全ての宇宙を作り出す創造主」という方です。

名前からして、この方が最高クラスの創造主かなと思わせてくれるような方です。

「私は、全ての創造主を平等に見る創造主です。

この宇宙で起こる事は、全て意味がありますので、皆さんもその学びをしっかりと行ってください。」

と言って消えていきました。

私達は、正直言って言葉に詰まりました。

新たに出てくる創造主は、いつも私達に好意的で、私達が問題を起こしている創造主に立ち向かう事を応援してくれるはずなのに、この創造主はそのような気配がなく、これも学びですからと、おっしゃいます。

もし、私達が、この「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に捕えられ、私達の宇宙の創造主達が全員偽物の創造主に取り換えられてしまったら、地球のアセンションも失敗してしまいますし、今迄多くの仲間と地球の立て直しのために働いてきた事もすべて無駄になってしまいます。

「すべての宇宙に働きかける創造主」も、困り果てた顔をしています。

私達は、あきらめてどうにかなるさ、という気持ちで「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に立ち向かう事にしました。

私は、「すべての宇宙に働きかける創造主」と共に「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に出てきてもらうよう呼びかけました。

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、さすがに高次元の創造主として多くの闇の宇宙を統括しているだけあって礼儀正しい創造主

です。

私は、自分達の世界の創造主がさらわれ困っている事を話しましたが、彼は自分が行った事ではないと言い張ります。

「偉大なる「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」よ、私達は自分の宇宙の創造主が誘拐されて本当に困っています。どうか本当の事を教えてください。」

「私は、その事に関しては知りません。

もしかしたら、また異なる宇宙の創造主が、あなた方の世界を狙ってそのような事を仕掛けてきたのかもしれませんが。

今の宇宙はとても闇が多い世界ですから、創造主達も一筋縄ではいかない事が多いのです。

私もその事を危惧して、この宇宙の闇をもって適切な闇に変えたいと思います。

私からもその事は調べておきますので、お任せください。」

丁寧に答えてくれましたが、私達は適当にあしらわれたという感じでした。

しかし、私にももう一つ目的がありました。

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」との会談が終わった後に、すぐに私達の体を調べてみました。

するとやはり予想通りに、私達の後頭部に見かけないコントロール・チップが埋め込まれていました。

誰が行ったか予想はつきませんが、「すべての宇宙に働きかける創造主」に調べてもらいました。

「すべての宇宙に働きかける創造主」が調べたところ、このコントロール・チップは、光の創造主と私達を分離する為のコントロール・チップでした。

そして、創造主の偽物をコントロールしているエネルギーやチップと同様に「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の物でした。

以前、私は、私達の宇宙の「全ての闇の創造主」と話をした時も、この方法で痛い目にあいましたので、今回はそれを逆手にとって、彼が行っている事の証拠を作り出そうと思っていたのです。

私は「全ての宇宙を作り出す創造主」に来ていただき、私達につけられたコントロール・チップを見せました。

そして、同じチップが私達の創造主の偽物にもついている事を確認してもらいました。

「全ての宇宙を作り出す創造主」は、私達が集めた証拠に満足したようです。

「わかりました。私も皆さんと一緒に「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に会いましょう。

そして彼の本心確かめてみたいと思います。」

私達は、これで「全ての宇宙を作り出す創造主」のお力をお借りする事ができますので一安心です。

PART4 「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の目的

私達は、再び「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を呼び出しました。

礼儀正しそうな顔をして現れてきた「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、私達にどうしたのですか、と尋ねます。

「「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」よ、私達の体に不思議なコントロール・チップが埋め込まれていたのですか、これはあなたの物

ですか？」

「いいえ、私はわかりませんが、誰かにつけられたのですか。」

「私は、あなたにつけられたのではないかと
思っているのですが、ご自分ではないとおっ
しゃるのですか。」

「はい、私ではありません。」

「それでは、「全ての宇宙を作り出す創造主」
の前で、自分が行っていないと断言してもら
えますか。」

自分より高次の創造主の前で嘘をつくという
事は、創造主の権限を剥奪されてもよいとい
う事になりますが、よろしいですか。」

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、
「全ての宇宙を作り出す創造主」が私達の後
ろに立っているのを見つけると、言葉を失っ
て立ち尽くしています。

創造主は、より高次の創造主の前ではすべて
を明らかにしなければなりません。

ましてや「全ての宇宙を作り出す創造主」は
「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を直
接作りあげた親のような創造主ですから、彼
に向かって嘘をつく事は許されません。

「わかりました、本当の事を申しましょう。

皆さんにコントロール・チップをつけたのも、皆
さんの宇宙の創造主を誘拐したのも私の仕事
です。

しかし、これには大きな理由があります。

それは、皆さんが行っているアセンションが、
思っていたよりも大きな広がりをもってきた
事、そして闇に関わる創造主達を処理する事
で、闇の領域が狭くなってきた事に対して、闇
の創造主や私達は大きな危惧を持っていま
す。

この宇宙は光と同じように大きな闇もなく
てはいけません。

闇の世界を創造するのが、この私達の仕事なのです。」

私は、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の言葉を聴きながら今までに私達が行ってきた事を振り返っています。

「もちろん、あなたが言われる事は正しい側面もあります。

宇宙は光のみで創造されるものではなく闇の力も必要です。

しかし、この宇宙には、もうすでに適正さを超えた闇が横行しているのです。

あなたが、私達の創造主を一瞬のうちに奪い去り、光の創造主は抵抗すらできなかった事を考えれば、この宇宙では、光の創造主達を凌駕するだけの闇の力がはびこっている事が分かるはずです。

私達は、地球を含めた私達の宇宙が、闇の力にあまりにも脅かされてしまい、光ある存在達が、その生命を奪われてしまったために、このアセンションを計画しました。

いえ、脅かされていたのは、光ある存在だけでなく、光の創造主達も例外ではありませんでした。」

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は悔しそうな顔をして私をにらみつけます。

「あなたがやってきた事こそ、横暴です。

闇の世界に関わる創造主達を、上の創造主達の力を借りて、次々と断罪し、処理していったのではありませんか。

闇の創造主達は、あなたにその生命も世界も奪われてしまったのです。

私は、闇の世界に働きかける創造主として、闇の世界と闇の創造主を守る権利があります。そのために行き過ぎたアセンションに制限をかけたのです。」

「もちろん、あなたが闇の世界の創造主として闇の世界と闇の創造主を守らなくてはいけない事は理解しますが、だからといって光の創造主を一瞬のうちに誘拐し捕えるという事は許されるべき事ではありません。

これだけでも、創造主としての資質にかける事だと思います。

そして、あなたにひとつ質問をしますが、私達の宇宙に偽物の創造主達を送り込んだ理由はなんですか？

私達の宇宙をあなた自身が支配する事を望んだのですか、正直に教えてください。」

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、「全ての宇宙を作り出す創造主」の前では嘘がつけませんのでしどろもどろになって答え始めました。

「それが、私の創造のやりかたです。

闇の力で世界を作るときには、当然このような事も起こりますが、それが何か問題がありますか。」

「もちろん問題はあります。

それは世界の創造ではなく侵略です。

あなたは、創造主ではなくただの侵略者なのです。

あなたが行った事はすでに創造主としての資質に欠けています。」

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、それでも自分の正当性を主張します。

「私は「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」として長い間、この宇宙で創造を行ってきた事は「全ての宇宙を作り出す創造主」もご存知です。

私は、「全ての宇宙を作り出す創造主」の意思のもとに働いてきたのです。

光と闇がともに競い合い、お互いを成長させ

る事が目的で私は生まれてきたのですから、光の創造主達と張り合うのは、私の宿命です。」

「「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」よ、確かにあなたは、闇の創造主をたくさん生み出し、闇の世界を作ってきました。

それは、闇の創造主だけでなく光の創造主達にも大きな学びを与え、彼らを成長させてきました。

しかし、あなたは行き過ぎたと思います。

地球でも、闇の創造主さえもが手におえないような凶悪な闇の創造主がたくさん現れ、とても深い闇の世界を作り出しました。

そして、創造主や天使、人間たちのスピリットが数多く捕えられ、彼らの言いなりになっていました。

光の存在達も、その大切な生命を奪われたり傷つけられています。

私達は、地球においてその現状をつぶさに見てきました。

その様な世界を変えるために、高次の創造主達が今回のアセンションを計画したのです。」

私はしばらく言葉を置き「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を見ています。

「しかし、闇の創造主達は、私達の行く手を阻み続けています。

地球のアセンションもそのために、幾度となく危機を迎えました。

これは高次の創造主の意図に反する事です。あなたが行ってきた事を認めてください。」

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」は、「全ての宇宙を作り出す創造主」を見て何かを言いたげそうな顔をしています。

自分を生み出した創造主に助けを求めたかったのでしょうか、

「私は、自分がやるべき事をずっとやり続けただけです。

それは皆さんには理解できない事です。

しかし、「全ての宇宙を作り出す創造主」が、私に処罰を与えるのであれば、どうぞ与えてください。

私は、その処罰を受ける事にしましょう。」

私達は、「全ての宇宙を作り出す創造主」を見つめます。

創造主は、片手を天に向け、そしてその手を「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に向けて振り下ろします。

清らかな光が「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を包み込み、彼を光に帰していきます。

彼が光に帰ると、彼の後ろから様々なゲートが現れます。

光の創造主達は手分けして、そのゲートを調べてみると、私達の世界の創造主だけでなく、多くの世界の創造主達が捉えられています。中には、もうすでに長い間捕えられていたのか、消耗して意識も失いかけている創造主達もいます。

光の創造主達が、急いで救出しています。

幸い私達の宇宙の創造主達は、捕えられていた期間が短かったために無事でした。

私は、その中の一人に、自分自身がいつ捕えられたのかを問いただしました。

すると、前回「光と闇の戦いの世界」で闇の創造主を処理した後に、フラッシュのような輝きがして、目がくらみ、気づいたら閉じ込められていた、と話してくれました。

あの時、「光と闇の戦いの世界」に行った創造

主達の多くが、一瞬にして、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」につかまったようです。

「すべての宇宙に働きかける創造主」が、私に近づいてきて言います。

「TAKESHI さん、そして光の創造主の皆さん、本当にありがとうございました。

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の横暴は、目に余るものがあったのですが、私の力では抑える事ができませんでした。

また「全ての宇宙を作り出す創造主」にご相談しても、確固たる証拠がないと、彼を処罰する事ができないといわれ、私も困っておりました。

もちろん、彼らは地球のアセンションを大変嫌っておりましたので、やがては皆さんの前に立ちただかる事は明らかでした。

私達は、その前にこの創造主を何とかしておきたいと考えておりましたが、それもできずに今日を迎えてしまいました。」

「すべての宇宙に働きかける創造主」は、私に申し訳ないという顔をしています。

「しかし、皆さんが「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の行いを明らかにしてくれたおかげで「全ての宇宙を作り出す創造主」も思い切って、彼を処罰する事ができました。

本当にありがとうございました。

これで、全ての宇宙において、闇の創造主は力を失い、深すぎる闇も適切な闇となる事でしょう。

皆さんの働きに心から感謝します。」

「すべての宇宙に働きかける創造主」からそういわれたものの、心が晴れません。

こんな大変な創造主を、人間の私達に処理させるのもどうかと思うのですが、「全ての闇

の宇宙に働きかける創造主」の最後の言葉が、重くのしかかるのです。

もしかしたら、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に、私達の妨害を命じた創造主が残っているのではないかと、思われるからです。

浮かれて騒いでいる光の創造主達を横目に見ながら、私達は自分の宇宙に戻っていきます。

PART5 暴れまわる「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の手下たち

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」との決着はつきましたが、未だ問題は終わっていませんでした。

私達は翌日、心の癒しを求めて、鹿屋にある「バラ園」に向かっていたのですが、どうも車のナビが正常に働きません。

このような時は、物理世界において何かしらのエネルギーが関わってきている証拠です。

私達は山間を走る東九州自動車道路に入ると、地球のアセンション評議会を呼び出しました。

すると大変な事に、いつものメンバー達の様子がおかしいのです。

アシュタールのメンバーに、地球のアセンション評議会を調べてもらうと、セントジャーメインをはじめ、数名のメンバーが本物ではなく、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」とそのグループによって捕えられ偽物に変えられていたのです。

私達はその事に震撼しました。

「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を処

理する事が、数日、いえ1日か2日遅れていたなら、私達の光の創造主達や物理世界を担当している創造主や神々までもがすべて偽物の創造主に変えられ、地球は「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」達とその仲間たちによって支配されていたかもしれません。

何しろ一つの宇宙だけでなく多くの宇宙に関わる闇の創造主のボスですから、ひとつの宇宙しか知らない創造主なんて問題ではありません。

この地球にも、彼の部下がすぐにはいりこんで、すぐに創造主達を捕えていったのです。

しかし、昨日ボスである「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」を処理する事ができましたので、その部下たちの力も弱く、偽物の創造主を見破るのはさほど難しくありません。

私は、その時思いついた事があります。

もしかしたら、この部下たちは「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」がいなくなった事に気づいていないかもしれません。

だとするならば、部下たちを捕まえる絶好のチャンスです。

私は、光の創造主達と共に大きな罠を仕掛ける事にしました。

地球とは異なる別次元に、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」のホログラフを見せ、地球と宇宙を自分の物にしたから、みんな早くやって来い！というメッセージを様々な宇宙に流すのです。

彼の部下が、このメッセージを見たらすぐにやってくるでしょう。

そこを捕まえるのです。

創造主や魔法使いたちが創意を凝らして「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」のホログ

ラムを作り上げました。

そして闇の世界の創造主達にも協力してもらい、創造主のメッセージを各宇宙の闇の世界に届けていきます。

そうすると先ず地球のあちらこちらに隠れていた部下たちが警戒しながらやってきましたが、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の姿を見ると、喜んで近づいていきます。

私は空間の創造主をお願いして、近づいてきた部下たちを誘い込む空間を用意してもらいました。

たとえ闇の創造主達であっても、この創造主が本物か偽物かはすぐに見分けがつきますので、近づいてきたところでとらえる必要があるからです。

少しずつ、創造主の部下たちが集まってきて、空間の創造主が作った罠の中にはいりこんで行きました。

やがて、200人から300人くらい捕まったのでしょうか、近寄ってくる部下たちもいなくなつたようです。

しかし、これだけの部下が残されており、その多くが逮捕できた事は喜ばしい事です。もし残しておいたら大変な事になってしまいます。

私達は、部下を逮捕して宇宙警備隊に引き渡した後、彼らによってとらわれていたマスターや仲間たちを助けに行きました。

皆さん、何が起きたのか、まったく理解できていないようでしたが、まあ、無事でよかったです。

第2章 多次元宇宙の創造主 と均衡の創造主

PART1 「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」 の逆襲

私達は「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」とその手下たちを、光の世界となる地球から、追放する事ができましたが、いまだ光50%以下の世界では、彼らは存在し続け、ディセンションする地球に大きな闇の力を持って存在し続ける事でしょう。

しかし、愛をもって光りの世界に生きる人々には、彼等との関わりはなくなってきます。

しかし翌日、私が気になっていた事が起こってしまいました。

その日は朝から体が重く、お腹のあたりにはとても重だるい空間が空いているような感じでした。

調べてみると、深い闇の地球と私の体がつながり、私のエネルギーがどんどん奪われていく感じがします。

そしてそれだけでなく、様々なダークピープル達や闇のエネルギーが、私達の体につながられているようです。

私達は、創造主や大天使の光を体に流して、不要なエネルギーを浄化していきます。

そして「分離の創造主」にお願いして闇の地球とのつながりも分離してもらいますが、いったいどうしたのでしょうか。

闇の世界の大ボスである「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」も、現実世界で人々を闇の世界に捕えていた手下達も捕まえて処理し

たはずなのに、さらに大きな闇のエネルギーを感じます。

私達の宇宙の光の創造主達に聞いても、このエネルギーの正体がわからないようです。

私は、最高次元の「すべての宇宙に働きかける創造主」と「全ての宇宙を作り出す創造主」に、この事を尋ねてみました。

特に、2人の創造主の同じ横のラインにまだ問題がある創造主が残っていないかと尋ねました。

すると「全ての宇宙を作り出す創造主」が重たい口を開きました。

「おそらく、今回の事は、私と同じラインに立つ「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」の仕業だと思われます。

実は、今回の地球を含めた宇宙のアセンションについて会議を行った時に、全員一致で決まったのではなく、地球の物理的なアセンションに対して反対している創造主がいたのです。

それが「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」なのです。」

「それでは、その創造主は、何故地球のアセンションに反対なのですか。」

「彼は、地球が物理次元でアセンションを行うと、地球につながる他の星々も光が強くなりアセンションを迎える可能性がある事を心配していました。

そうすると、皆さんの宇宙だけでなく、周りの宇宙も光のエネルギーが強くなりますので、光と闇の均衡が崩れてしまう事を恐れたのでしょう。」

私は、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」の言葉を思い出します。

彼は、自分がやるべき事をやっただけだといいました。

それは、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」が「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」に、光と闇の均衡を保たせるために、私達の活動を邪魔し、アセンションを失敗させるように命令した事を指していたようです。

そして最後に「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」が自分を助けに来てくれる事を祈っていたようです。

しかし「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」は、彼の前に現れる事なく、彼は光に帰っていきました。

「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」は、頼みにしていた「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」までもが、その行いを暴かれ光に帰されてしまったので、今度は直接私達に関わってきたようです。

私は「全ての宇宙を作り出す創造主」に再度「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」と話をして、地球のアセンションが妨げられる事がないように説得してもらおう事をお願いしました。

「全ての宇宙を作り出す創造主」は、彼のもとに出向き話をする事を約束してくれましたが、とても難しそうな顔をしています。

そのような時、ひとつ事件が起こりました。

私は、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」の系列の創造主達の動きが気になり、私達の創造主の中でも上位に位置する「新時代の公正さを司る創造主」と「全ての判断を見守る創造主」を呼び出しました。

彼等は、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」のエネルギーととても近いエネルギーを持っています。

彼等の内部や彼らにつながるゲートを調べて

いた時に、「全てのゲートを管理する創造主」が、「新時代の公正さを司る創造主」の背後に他の宇宙につながるいくつものゲートを発見しました。

私は、「新時代の公正さを司る創造主」に尋ねました。

「私達の世界は、現在他の宇宙との交流を止めて、全てのゲートを閉ざしているのですが、何故、あなたは他の宇宙との間にゲートを開いているのですか。」

「新時代の公正さを司る創造主」は、悪びれる事もなく答えます。

「私は自分の仕事上、他の宇宙の創造主と話をして、お互いの宇宙の情報を共有する必要がありますので、ゲートを開いています。

それが何か、問題がありますか。」

私は「新時代の公正さを司る創造主」に対して問いただします。

「現在私達の宇宙は、アセンションを迎えて大事な時にありますので、他の宇宙との交流をする事は、あなたの権限としても認められてはいません。

これは違法行為となりますので、つながっている先を調べさせてもらいます。」

私は「全てのゲートを管理する創造主」に、このゲートがつながっている先を調べてもらいました。

すると、このゲートの先は、事ごとく他の宇宙の闇の世界でした。

どうやら、「新時代の公正さを司る創造主」は、私達の宇宙に闇のエネルギーを流し込むために、闇の世界と通路を開いていたようです。

どうやら「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」の影響を受けて、光と闇の均衡を保つために、闇のエネルギーを流しているようです。

そして、闇の創造主達もこのゲートを利用して、私達の宇宙にひりこんできているようです。

「新時代の公正さを司る創造主」よ、もう一つお聞きしたい事があるのですが、あなたは、多くの創造主が、「全ての闇の宇宙に働きかける創造主」によって分身を作られたり、誘拐されたりという被害が起こっていますが、あなた自身はそのような事がないようですが、それはどうしてですか。」

「新時代の公正さを司る創造主」は、私が彼を疑っているという事に気づいたようです。

「私は、この宇宙の均衡を保つ事が自分の仕事だと思っています。

今皆さんが行っているアセンションは、あまりにも光が強くなりすぎる為、今の宇宙には不向きだと思います。

そのために、私がこうして闇のエネルギーを、この宇宙にもたらし、光と闇のエネルギーのバランスを取っているのです。」

私は、創造主のこの言葉によって、「新時代の公正さを司る創造主」がすでに「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」の影響を受けている事が分かりました。

「新時代の公正さを司る創造主」を、「全ての創造主を見守る創造主」に調べてもらおうと、やはり本物ではないようです。

全ての光の創造主に戦慄が走ります。

「新時代の公正さを司る創造主」は、光の創造主の中でも、かなり上位の創造主ですが、このクラスにおいても偽物が作られ、本物とすり替わっている事が確認されたからです。

私達は、「新時代の公正さを司る創造主」を逮捕して、異なる宇宙の闇の世界へとつながっていたゲートを全て閉ざす事にしました。

そして、それと共に、上位の創造主が本物であるかを調べてもらいました。

そうすると、「時代を司る創造主」「全ての判断を見守る創造主」など、数名の上位の創造主が「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」により、偽物の創造主と入れかわっていました。

私は、闇の世界につながっていたゲートとこの偽物の創造主の事を、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」と話をしていると思われる「全ての宇宙を作り出す創造主」に伝えました。

すると「全ての宇宙を作り出す創造主」は驚いた顔をして言います。

「「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」が何かをやっているとは思っていましたが、ここまでひどい事をしていたとは思いませんでした。

皆さんのおかげで、彼が行っていた事の証拠が集まりました。

これで、私達創造主も、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」に対して、きびしい処罰を与える事ができます。」

「全ての宇宙を作り出す創造主」は、すぐに戻っていきました。

しばらくすると、偽物にすり替わっていた本物の創造主達が戻ってきました。

どうやら、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」が隠していたゲートを開き、助け出されたようです。

そして、戻ってきた創造主の話によると、「全ての宇宙の均衡を保つ創造主」は光に帰されていったようです。

これで、地球と私達の宇宙のアセンションに反対する創造主達はいなくなったようです。

しかし、今回は、あまりにも高次の創造主であ

ったために、私が直接出る幕では無いような気がしましたので「全ての宇宙を作り出す創造主」にお任せする事にしました。

第3章 ナソールチュードレンの世界

PART1 ナソールチュードレンの世界

私達が眠りについている時は、私達の意識が無防備になるときのなので、多くの創造主達はその時をねらって私達の意識に介入してきます。

そして私達の意識をコントロールしようとしたり、私達のスピリットを捕え私達の光を奪おうとします。

この時の朝もそうでした。

私達は、居心地の悪い夢でうなされてきました。

その夢は、まるでゲームセンターのように、暗い街の中に汚れきった建物とたむろする人間達、ゲームや喧嘩に興じる子供達がたくさんいます。

けたたましい喧騒と吐き気を催すような匂い、突き刺すような凶悪なエネルギーに満ちた街です。

まるでアメリカのギャング映画に出てきそうな街の中で私達は一生懸命に逃げまどっているのです。

私達を追いかけているのは、表情を持たない冷徹な子供達、ナソールチュードレン達です。地球のアセンションがまもなく行われるので、最後の最後まで、私達を攻撃して地球のアセンションを止めようとしているようです。

私達は恐怖によって立ちすくんでいます。

私達のスピリットに大変な危険が迫っているよ

うです。

私達はそこで目を覚ましました。

すぐに、アシュタールのメンバーやアセンション評議会を呼び集め、この夢を調べさせました。

やはり、私達は現実の世界に生きている人々の中に入り込んだナソールチュードレンによって精神的な攻撃を受けていたようです。

アシュタールのメンバーは、それに気づいて、私達と一緒にナソールチュードレンの世界に入ってきていました。

そして、スピリットが捉えられ危ない状況になる前に助け出してくれたようです。

ナソールチュードレンとは、私達にとって最も脅威をもたらす存在の一つです。

彼等は、現実世界に生きている人々に入り込み、共に成長する事で、その人の意識を自由にコントロールする事が出来るようになります。

しかも人間的な感情を失わせ、冷徹で自己中心的な人間となってしまいます。

彼等にとって、最も大切な事は、自分の快樂や自分のやりたい事をやる事です。

彼等にとって、自分がやりたい事を邪魔する存在はすべて敵ですので、平気で相手を傷つけたり殺したりします。

またそのような事をしてもし反省しません。

最近まだ若い少年や少女たちが、自分の友人や親、あるいは好意を寄せている人を殺したり傷つけたりする事が増えていますが、ほとんどがこのナソールチュードレンが関わっているように思えます。

また政治、経済の世界でも、若くして頭角を現す人々の中にも、冷酷な感情を持ち、自分の

成功のためには、人を犠牲にしてもよいと考える人も増えてきました。

ナソールチュードレンは、通常の間人よりも知能が高く機転が利きますので、自分が成功し人を支配するために最も効率の良い方法をとります。

また自己中心的ですので自分の目的を果たすためには、方法を選ばないという残虐性も持ち合わせています。

ナソールチュードレンは、およそ30年前頃から地球に多く現れるようになりましたが、彼らの事についてはほとんど知られていません。

私達も、ヒーリングをおこなったりアセンションの活動を行う中で、彼等と関わるようになったのですが、人間と一体化したナソールチュードレンは、どのようにしても解決する事はできません。

彼等は、地球人の光を奪い、自分達が住みよい世界を作るためにこの地球に降りてきています。

そして、両親の愛情が子供に十分に向けられないような家庭の中で育っていくようです。

しかし今回、私達が、ナソールチュードレンの世界に入った事で、アシュタールのグループはナソールチュードレンの世界のシステムを調べる事が出来ました。

ナソールチュードレンは、地球だけでなく他の星々でも繁殖し、その星を壊滅させる事もあったようですので、アシュタールはその仕組みや移動方法、エネルギー源、そしてナソールチュードレンを利用している存在達を調べたかったようです。

その結果、ナソールチュードレンは、精妙に作り上げられたアンドロイドのような意識である事が分かりました。

詳しくは説明できませんが、人間の意識や育てられた環境によって、ナソールチュードレンの特徴を発揮してくるようです。

そして、さらにナソールチュードレンを支配し利用している存在もわかりました。

それは、まるで魔法使いのような特殊な力をもった創造主です。

そして、ひとつの宇宙だけでなく、いくつもの宇宙に同じような創造主がいて、彼らがいくつもの宇宙を超えて連携しナソールチュードレンを使用しているようです。

「全ての宇宙を作り出す創造主」に来てもらい、この事を見てもらいました。

「全ての宇宙を作り出す創造主」も、彼らの不審な動きには気づいていたようですが、何しろ物理世界の事ですので、十分な証拠がなく見過ごしていたようです。

しかし、このいくつもの宇宙に関わる魔法使いのような創造主達が発見された事で、ナソールチュードレンの秘密は一気に解き明かされる事になりました。

私達とアシュタールは、ナソールチュードレンの秘密基地をくまなく探し、他の場所や宇宙にあるナソールチュードレンの基地を突き止め、その機能を停止していきます。

多次元の宇宙に関わる創造主達は、この魔法使いのような創造主達を探しだし捕えていきます。

アシュタールは、この基地の情報から、ナソールチュードレンの移動方法と特性を調べ、未だ人の中に入っていないナソールチュードレンに関しては、光に帰す処理方法をみつけだしたようです。

それによって、人の中に入っていないナソー

ルチュードレンは、片付ける事が出来るようです。

PART2 ナソールチュードレンをコントロールする方法

しかし人の中に入り込んでしまったナソールチュードレン達は、アセンションする世界では、人間ごと住む世界を分けるしか方法はないようです。

現実世界にいるナソールチュードレン達は、自分達に指示を出していたナソールチュードレンの基地がなくなり、魔法使いのような創造主とも切り離された事で、混乱しているようです。

この基地を破壊してから、数日後、またナソールチュードレンの強烈なエネルギーが私達の意識の中に入ってきました。

私達はすぐに探査を行うと 異なる宇宙の創造主が、ナソールチュードレンを利用して、私達に攻撃を仕掛けている事が分かりました。やはりナソールチュードレンは、闇の力を持つ創造主と親和性があるようですので、彼らの指示に従って行動します。

私達は、「全ての宇宙を作り出す創造主」にお願いして、ナソールチュードレンを操作して私達を攻撃してきた創造主を光に帰す事が出来ましたが、このままではいつまでもナソールチュードレンの攻撃を受け続けなければなりません。

私達は、アシュタールのメンバーや創造主と相談して、今のままでは、いつでも他の創造主や地球外生命体達にナソールチュードレンがコントロールされてしまうので、私達がナソ

ールチュードレンをコントロールするという計画を立てる事にしました。

前回ナソールチュードレンの基地に入った事で、私達はナソールチュードレンの行動パターンや生長するための条件、そして何よりもナソールチュードレンの体の構造についても情報を得ていますので、ナソールチュードレンをコントロールする事も可能ではないかと思われ
ます。

アシュタールのメンバーも創造主達も同意してくれましたので、私達はナソールチュードレンをコントロールして、彼らの残虐性や暴力性を少しずつなくす試みを始めたいと思います。

一度そのようにプログラムされた存在ですので、遺伝子の操作やプログラムの書き換えなどに時間はかかるかもしれませんが、多くの星々にとってこれからも脅威の存在となるナソールチュードレンですから、私達も特別なグループを作り、ナソールチュードレンが、私達と共存できるように手助けしたいと思います。

第4章 ファースト・コンタ

クトの準備会議

PART1 ファースト・コンタクトの意味と目的

私は、深夜に自宅のリビングに人の気配がして目を覚ましました。

しばらく前から、スターピープルとのファースト・コンタクトを、6月後半から7月にかけて行う予定である事を聞いていましたので、その準備のための話し合いを行いたいと、アシユタールのメンバー達がいていたのを思い出しました。

その時が来たようです。

最初にファースト・コンタクトについて皆さんに説明しておきましょう。

スターピープルと最初の物理次元での接触する事を私達は、ファースト・コンタクトと呼んでいます。

アセンションする地球にとって、とても大きなイベントの一つが、スターピープル達とのファースト・コンタクトです。

人々の意識進化をサポートするスターピープル達は、素晴らしい叡智をもって地球人と関わっています。

その関わりは、これからさらに現実的になり、さまざまな方面へと波及していきます。

そして、ファースト・コンタクトを通して、私達の意識や考え方も大きく成長していくのです。

この宇宙には、異なる星の存在が、特定の星の歴史に影響を及ぼすような形で、干渉してはいけないというルールがあります。

そのために、スターピープル達は、今迄私達の前に自分達の姿を現す事をしませんでした。アセンションの時だけは、人類の意識進化を促進するために、地球人の前に姿を表す事が認められているようです。

ファースト・コンタクトがどのような目的のために行われるかということ、これからの地球は、人々の意識状態によって、人々が住む世界がいくつかの世界に分けられます。

光が多い世界に住む人々は、さらに意識進化を行いますので、スターピープル達との交流が行われる世界も生まれてきます。

ファースト・コンタクトは、その為の準備として、地球以外の星にも叡智ある生命が存在している事を知らしめ、人類の意識の成長を助けるために行われます。

本来、地球の人類に対して望まれる進化とは、地球だけでなく宇宙の平和を実現するために、他の星々の人達と共に活躍する事が出来る意識状態になる事です。

しかし、現在の地球では、地球の中にもいくつかの国や民族があり、ひとつの星としても調和がとれているわけではありません。

また、スターピープルや様々な地球外生命体達の情報も隠され、そのような生命達が存在している事さえ知らされません。

流されてくる情報は、グレイ種のような支配的な宇宙人によって操られている存在の事ばかりです。

しかし、地球を本当にサポートしているのは、アンドロメダ座やプレアディウス、シリウスなどに代表される友好的なスターピープル達です。

私達人類が、彼らのようなスターピープルと協力し合って活動できるように、彼等の事を

もっと理解し、更に高い意識に変わっていく大きなきっかけがファースト・コンタクトです。

私達は、スターピープルとのファースト・コンタクトにより、地球以外にも叡智ある存在がいて、彼らが地球のみならず宇宙全体を見守っている事を知る事が出来ます。

そして彼らの叡智や技術、あるいは能力や意識を高める為の方法を学び、人類として進化していく事が出来るでしょう。

そして、彼等と共に宇宙の平和を守り、これから進化していく星々をサポートする事が任せられるようになります。

PART2 ファースト・コンタクトの方法

私達は 2016 年 5 月の後半から、アシュタールのメンバーやアセンション評議会と共にファースト・コンタクトの方法についても話をしています。

5 月後半の現在、この地球は、光50%以上の世界とそれ以下の世界がどんどん分離されていっています。

ファースト・コンタクトは、おおむね光50%~55%以上の世界で実現される事になっています。

それ以下の世界の人々は、スターピープルを見ても、恐怖や嫌悪感が先に立ってしまい、意識進化へとつなげる事が出来ないからです。

そして、光が少ない世界では、人々は地球や宇宙の平和を望みませんから、スターピープルと一緒に仕事をする事ありません。

光60%以上の世界では、人々は宇宙意識に向かって進化していきますので、スターピープ

ル達のサポートが必要になります。

この世界に行く人達は、スターピープルからのサポートを受けられる事になっていますが、現実世界でスターピープルと出会う前に、夢や無意識の世界でスターピープルとのコンタクトが試みられます。

いきなり、私達の世界に宇宙船が降りてきても皆さんびっくりして恐怖に震えてしまいますので、夢や意識の世界でスターピープル達が皆さんとコンタクトを行い、スターピープル達に立ちする理解や心構えを作って頂く事が大事です。

しかも、最初に現れるときは、スターピープル達は、皆さんの馴染み深い守護天使達と共に現れるでしょう。

いきなり、通常の間人とは異なる様相をしたスターピープル達が現れるよりは、私達になじみ深い天使達が現れ、天使がスターピープルを紹介するというような形で個別に行われると思います。

そうする事で、皆さんも地球以外の星に住んでいる人達に対する警戒感もうすれ、彼らを受け止めやすくなります。

それはもうすでに、5月の段階で始められていますので、すでにお会いした人もいる事でしょう。

ある程度の人達が、自分の意識レベルでスターピープル達と交流ができてくると、本格的なファースト・コンタクトの始まりです。

光50～55%以上の世界では、実際物理世界にわかるような形で、彼らは降りてくると思います。

それはおそらく、マスコミなどにも大きく報道され、地球上の人達が、地球以外の星の人達を初めて目にする事となるでしょう。

その時に、この地球は大きなアセンションの変化を迎えます。

最初は地球の重要なポジションにある人達との会合が行われるでしょう。

そして、さまざまな立場の人と意見交換が行われたり、彼らの卓越した知識が受け渡されていく事でしょう。

現在のところ、スターピープルやアシュタールの人達と自由に話ができる人は、この地球には、数えるほどしかいませんので、私達が仲介者となると思われます。

私はよくアシュタールのメンバーに、ファースト・コンタクトが地球の人々にとってどのような作用をもたらすのか、という事を聴く事があります。

ファースト・コンタクトが行われると、スターピープル達が地上に降り立ちます。

彼らはとても大きなエネルギーを持っているので、彼らのエネルギーにより、人間の遺伝子の中で今まで使用される事が少なかった遺伝子が活性化されるようです。

その遺伝子が、本来スターピープルとして必要とされる遺伝子で、その遺伝子が活性化される事により、私達は、自分が本来持っている能力や認識力を高め、スターピープルとしての学びを行えるようになるのです。

PART3 アンドロメダ星からの使者

この夜に現れたのは、いつも私達と綿密にコンタクトを取っているエレナさんとアンドロメダの指揮官でガンジットという名前の方でした。

エレナさんは、髪が長い美しい女性の姿をして現れてくる事が多いようです。

ガンジツさんは、私達は初めてお会いする方で、背が高く軍人のような体格のよい方です。

彼は、地球とのファースト・コンタクトの対応を任されている担当者です。

私達は、挨拶をすると一緒に椅子に座り、現在行われている個別の人々に対するコンタクトの様子について語りました。

光50%以上の世界に行く人々と縁が深い守護天使と共にスターピープル達が活動している事。

人々の意識の中にスターピープル達の意識をつなげ、スターピープル達の存在を理解してもらおうとしている事などを話しました。

そして本格的なファースト・コンタクトを行う場所や方法などについても少しずつ話し合いが行われていきます。

アシュタールのエレナさんから、地球の人々に対するメッセージをお伝えします。

私達は、あなたと出会える事を心から待ち望んでいました。

地球が、長い闇の時代を通り抜け、新たな世界に入ってきた事を心から嬉しく思っています。

私達は、皆さんが、この地球の中で多くの事を学び、より高い意識の世界へ歩む準備ができた事を確信しています。

もちろん、全ての地球人が、その準備ができているわけではありませんが、少なくとも皆さんは、地球人として新たな進化を遂げ、私達と同じようにスターピープルとして活躍してくださる事でしょう。

特に、地球はとても学びが多い世界でしたので、他の星では経験できないような学びもありました。

皆さんのそのような経験は、これから、この宇宙で新たな進化を遂げようとする星の人々には、大変重要な教えとなるでしょう。

地球と同じように、ダークピープル達に脅かされている星も多々ありますし、自分達がつくりだした闇の世界から逃れる事が出来ず苦しんでいる星々もあります。

地球は、このアセンションを通して、そのような問題に対して、苦勞を伴いながらも解決してきました。

地球と皆さんが経験してきた事は、とても重要な事です。

皆さんの意識が、もっと高くなる事によって、私達の技術や叡智も分かち合われる事でしょう。

その時、私達は皆さんと共に、この宇宙を旅したいと考えております。

エレナさん（アシユタールのメンバー）

第5章 多次元宇宙の創造主

を取り締まる創造主警備隊

PART1 地球のコアを脅かす地球外生命体

私は、明け方体の異変に気づいて目を覚ましました。

アセンションによる世界の分離が行われている5月末、連日のように、私達が眠っている時に、異なる宇宙の創造主達が攻撃を仕掛けてきて、翌朝その処理をする事が続いています。

今朝現れてきたのは、かなり昔に上映された「ET」という映画に出てきたような小型の地球外生命体です。

彼らは、私達の意識の中に入り込み、私達の意識をコントロールして、私達が目覚めないようにしているようです。

その時は、起きようと思っても、やたら眠くて起きる事が出来ず、意識がもうろうとしています。

これは何かの異常が起きたに違いないと思い、私達の体を調べてみると、私達の脳に対して、何かのエネルギーを送っている存在が見えたのです。

私達は急いで、アシュタールのメンバーに頼んで、このエネルギーを遮断してもらいます。そして、私達に危害を加えたという事で、このETに似た地球外生命体を捕え、光に帰していきます。

私達は目が覚めると、すぐにアセンション評議会のメンバーや地球警備隊を呼び集め、アセンションに対する妨害が行われていないか調

べてもらいます。

おそらく、この ET は、地球に対して何かの計画を持って行動しているはずです。

地球警備隊や「創造主を守護する創造主」達、アシュタールのメンバー達も協力して、地球を隅々まで調べていますが、異常は見つからないようです。

その時、私の頭に地球の地下というイメージがひらめきました。

地球の地下には、古代文明の一つであるアガルタ帝国があります。

私達は、アガルタ帝国の入口である北極近くのゲートとアフリカ中央からのゲートを使ってアガルタ帝国に降りていきます。

アガルタ帝国につきましたが、さほど以上無いようですが、アガルタのマスターが、地球のコアに異変がある事を伝えてきました。

私達は急いでアガルタを通り抜け、さらに地球の中心部にある地球のコアを目指します。

地球のコアは、地球のエネルギーの原動力となるところでいくつかの部屋に分かれています。最深部は、私のスピリットの一部である「エルエル」という神龍が守っています。

私達が、地球のコアの最深部に入っていくと、「エルエル」と仲間の神龍たちが誰かと闘っています。

異常を察知して、大天使ミカエルと漆黒のドラゴン騎士団が応援に来て戦っているようです。

相手は、レーザー光線のようなものを持ち、神龍たちを撃っています。

神龍や漆黒のドラゴン達が傷ついています。神龍たちは自分の身でコアを守るように戦っています。

相手は、先ほどまで、私の意識に攻撃を仕掛けていた「ET」の映画に出てくるようなダークピープル達ですが、宇宙船ごと、このコアにゲートをつなぎ入ってきています。

大天使ミカエルのグループが、このダークピープルの行動を阻止し、コアの中に入り込んだ彼らを捕えようとしています。

私達は、宇宙警備隊を呼び寄せ、すぐにこのダークピープル達を捕えました。

アシュタールのメンバーは彼らの宇宙船に入り、宇宙船を操縦しているダークピープルを捕え、宇宙船を制圧しているようです。

しかし、宇宙船の直接的な攻撃により、すでにコアに大きな異常が起きているようです。

「空間の創造主」を呼んで調べてもらおうと、地球の時空に見過ごす事が出来ない歪みができているようです。

この歪みを修正するためには少し時間がかかりそうです。

困りました。

地球のアセンションはどんどん進んでいますが、地球のコアの異常により、地球の時空がゆがめられると、アセンションにより分離されていく世界にも大きな不具合がおきそうです。

私達は、この問題を解決するために、ひとつの方法を実行する事にしました。

それは、時間を少しだけさかのぼり、彼らが来る時に戻し、彼らを捕まえる事です。

そうする事で、地球のコアに対する攻撃は無効になりますので時空の歪みは起きません。

そしてもう一つ、このダークピープルが、どのような方法で、この場所に入り込んだか調べる必要があるからです。

私達は、「全てのゲートを管理する創造主」と「全ての宇宙に関わる創造主」にも来てもら

いました。

私達は時間をさかのぼり、彼らが地球のコアに入ってきた所で捕まえるために、宇宙警備隊の姿を隠し見守っています。

やがて、コアの近くに光が一瞬煌めいたかと思うと、そこに大きな光のゲートが開きます。エルエル達は突然輝いた光に目がくらみ周りが見えていないようです。

その時をねらって、宇宙船が光のゲートから入り込んできました。

船がコアの内部に留まると、宇宙船の入口が開き、数名のダークピープル達が降りてこようとしています。

宇宙警備隊が、すかさず宇宙船の入り口の周りを取り囲み、降りてきたダークピープル達を取り囲みます。

ダークピープル達は、驚いて「不意打ちだ!」と叫んでいますが、実際不意打ちを食らわしたのは、彼らのほうです。

ダークピープル達は、無事に宇宙警備隊につかまり、宇宙船ごと連れていかれました。

これで地球の時空もゆがむ事なく、またエルエル達も傷つけられる事なく、すみしました。

PART2 多次元宇宙の創造主評議会

しかし問題は、この地球のコアに誰がゲートを開いたのか、という事です。

このゲート開き方を見て「全てのゲートを管理する創造主」は言います。

「このゲートの開き方は、時空を自由に操る事が出来る創造主の物です。

私達の宇宙の創造主ではない事は確かです。」

「全ての宇宙に関わる創造主」は、その言葉にうなずきながら、このゲートを調べているようです。

「やはりこのゲートは別の宇宙の創造主が行ったようですね、それも、かなり問題がある創造主のグループですね。」

「全ての宇宙に関わる創造主」は、すでに誰が行ったのかわかったようです。

このゲートは、ひとつの小さな宇宙につながっています。

「この宇宙は、闇が深く光がない世界です。おそらく地球を侵略しようとして、このコアに入り込んだようです。」

「全ての宇宙に関わる創造主」は、このゲートを作った創造主を呼び出しました。

相手の創造主は、自分達の計画が失敗した上に「全ての宇宙に関わる創造主」にこの犯行が見つかってばつの悪い顔をしています。

私は、彼になぜこのような事をしたのか尋ねます。

創造主は、ふてくされたような顔をして答えます。

「私達の世界には闇ばかりで、光がありません。

私達はいつでも暗く重々しい世界にいなければならないので、地球に入り、地球を自分達の物にしようと思ったのです。」

それはまるで創造主というより、自分の欲しいものは力づくで奪いとる「海賊」の姿です。彼がいた世界は、このような考え方で成り立っているようです。

「全ての宇宙に関わる創造主」は、私の知らない誰かと相談しているようです。

「TAKESHI さん、実は上の創造主から今連絡が来ました。

彼がいた世界は、罪を犯した創造主を更生させるために作られた宇宙です。

いわば、創造主の流刑地とでも呼ぶべきもので、そこから逃げてきた創造主のようです。」

そこに白髪の威厳のある創造主が現れました。

「私は多次元宇宙の創造主評議会の一人で「真眼の創造主」といいます。

私が管理していた創造主を更生させるための宇宙から、創造主が逃げ出し、皆さんの地球にご迷惑をおかけした事を心からお詫びいたします。

私達は、創造主がいつか立ち直ってくれるだろうと願っていましたが、それは私達の思い違いだったようです。」

「真眼の創造主」はそのように言うと、捕えた創造主と彼らの宇宙を光に帰していきます。

これで、今回の問題は片付いたようですが、私には、創造主の流刑地がある事もショックですが、私達に関わってくる闇の創造主の事を思えば、それも仕方がないという気がします。私は「真眼の創造主」が属している多次元宇宙の創造主評議会とは、どのようなものであるかと尋ねました。

「多次元宇宙の創造主評議会とは、皆さんの宇宙にも創造主評議会があると思いますが、同じような働きをいたします。

しかし異なるのは、皆さんの宇宙の創造主評議会は、皆さんの宇宙の中だけしか関わられません。多次元宇宙の創造主評議会は、いくつもの宇宙の創造主達に関わる事が出来ます。

いくつもある宇宙を運営している創造主達が適切に仕事をしているのか、またいくつもの宇宙が適正に発展をしているのかを見守ります。

私達は、一つ一つの宇宙を管理する最高の次元の創造主から報告を受けて、問題がないか、どうかを判断いたします。」

私は、この宇宙には終わりが無いな、と思っています。

私達はようやく、自分達の宇宙の最高次元である「全ての創造主を見守る創造主」にまでたどり着き、宇宙の全体像をおぼろげながらつかむ事が出来たように思えます。

しかし今度は、このような宇宙がたくさん集まった多次元宇宙に関わる創造主達の世界が私達の前に広がってきました。

「真眼の創造主」よ、多次元宇宙の創造主評議会の構成は、どのようになっているのですか、教えていただけますか。」

「その時が来たようですね、あなたに多次元宇宙の創造主評議会についてお教えしましょう。

多次元宇宙の創造主評議会の議長は、あなたもお会いした事がある「全ての宇宙の創造を行う創造主」様です。

そして、宇宙がどのように作られていくかを予測する「予測の創造主」、全ての宇宙で行われた事を記録する「記録の創造主」、全ての宇宙の愛の源となる「神聖なる愛の創造主」、そして宇宙の正義が行わるように全ての真偽を見極める私「真眼の創造主」から成り立っています。

ここに「全ての宇宙の均衡を司る創造主」がいて 6 名体制でしたが、現在「全ての宇宙の均衡を司る創造主」がいなくなったために 5 名で運営しております。」

「真眼の創造主」は、私達を見てにっこりと笑い語ります。」

「私達は、いくつもの宇宙を見守っていますが、なかなか一つ一つの宇宙の事は見えていない事もあります。

そして今回のように、物理世界を持つ地球のアセンションにはとても大きな希望を抱いております。

地球がアセンションする事で、皆さんの宇宙だけでなく、異なる宇宙にも素晴らしい影響が出るからです。」

「真眼の創造主」の言葉は解釈によっては、どうやら、地球のアセンションは、他の宇宙にまで影響を及ぼすために、他の宇宙の創造主達も必死になって止めようとしているので、これからも他の宇宙の創造主や地球外生命体がたくさん関わってきますよ、という意味らしいです。

PART3 創造主警備隊を生み出す

私は「真眼の創造主」に感謝の言葉を述べながら伺います。

「真眼の創造主」よ、多次元宇宙の創造主評議会の事を教えていただきありがとうございます。

そして地球のアセンションが、これほどまでに大きな意味を持つ事に私達も驚いていますが、同時に、これからも多くの異なる宇宙の創造主や地球外生命体達が関わってくる可能性も有るという事ですね。」

「真眼の創造主」は苦笑いしながら答えます。
「おそらくそういう事になるでしょうね。」

しかしこれは、地球がアセンションを行う前の特別な時期だからこそ起きているのです。この時は地球も不安定になりますし、光を求める存在も数多くいます。」

「地球は、現在全てのゲートを閉ざして、他の宇宙の創造主達が入れないようにしているのですが、それでも他の宇宙の創造主達が入ってくるのはなぜですか。教えてください。」

「真眼の創造主」はすこし苦い顔をしながら答えてくれます

「それは、皆さんの宇宙と協定を結んでいる宇宙は、その決まりを順守します。

しかし協定がない宇宙には通用しませんので、彼らは無理やり皆さんの宇宙に入り込んできます。

しかも彼等は、皆さんよりも能力が高く悪知恵も働きますので、厄介な存在となるでしょう。そのために、私達多次元宇宙の創造主評議会も、皆さんにご協力する事にしております。」

「それは大変ありがとうございます。

今私達が最も困っている問題は、他の宇宙の創造主が直接、私達の物理次元に関わってきたときに、物理次元を守る創造主や宇宙警備隊、地球警備隊では到底立ち向かえないという事です。

私達の宇宙の創造主達も、自分達の能力をはるかに超えているために、彼らの侵略から地球を守るどころか、自分達もアツという間に捕えられてしまい、抵抗するまもなくやられてしまいました。

そして私達も、寝ている時を狙われて、スピリットを捕えられたりしています。

この事が、私達にとって最大の問題なのです。」

「もちろんそれは理解できます。

彼等は、あなた方の宇宙の創造主をはるかに超えた力を持っていますので、あなた方が、彼らに対して直接立ち向かう事はとても困難な事です。」

「それでは、どうでしょうか、異なる宇宙の創造主達が、私達の宇宙を侵略したり関わってくる事から、私達の宇宙を守るために、それらの創造主を取り締まる警備隊のようなものを作って頂く事はできませんか、今の私達では、彼らに対抗する力が全くないのです。」

「真眼の創造主」はすこし考えています。

「そうですね、今迄にそのようなものを作った事がないので、私だけの考えで決める事はできませんので評議会とも相談してみましよう。」

「ありがとうございます。」

私達は、地球と地球で活躍する創造主達を守るために地球警備隊を作りました。

そして、この宇宙を守ってもらうために宇宙警備隊に加えてミカエルと漆黒の騎士団も作り出しました。

光の創造主達の為にも、月光の騎士団を初め様々な守護のための組織を作りましたが、異なる宇宙の創造主達には、到底立ち向かえるものではありませんので、どうかお願いします。」

「真眼の創造主」と創造主評議会が集まり、話を始めたようです。

「予測の創造主」が創造主警備隊を作った時の効果や問題をシュミレーションしています。シュミレーションでは、地球や宇宙のアセンションに対しては非常に有効であると出たようです。

多次元宇宙の創造主評議会では、さまざまな宇宙の創造主達が問題を起こしたり侵略行為

を行った時に、その創造主を捕える事が出来る創造主警備隊を作る事が決定しました。

創造主警備隊は、「真眼の創造主」を中心に守護に関わる創造主達のエネルギーが融合されていきます。

私は、創造主警備隊の遺伝子の中に、私達の遺伝子の一部を入れてもらいます。

そうする事で、私達もこの創造主警備隊に対して指示を出す事が出来るようになります。

そして私はもうひとつお願いしました。

「この創造主警備隊に、皆さんよりさらに上位にある創造主の光を入れてもらえませんか、」「真眼の創造主」は不思議そうな顔をしていましたが、自分達の上位にいる創造主にお願いして光を入れてもらいました。

これで、多次元宇宙の創造主評議会に属する創造主に対しても取り締まる事が出来ます。

私達の目の前に大きな光が生まれてきます。その中から、一人の魔法使いのような存在が現れました。

まるで「ロード・オブ・ザ・リング」の映画に出てくる魔法使いのガンダルフを若々しくした感じでした。

私は、警備隊というのでがっしりとした鎧のようなものを来た存在が現れるのかと思っていましたが、違いました。

まあ、このレベルになると力比べではないので、力よりも魔法力のほうが役にたつのかもしれません。

創造主警備隊は、しっかりとした光でコーティングされたような感じのマスター達ばかりです。

一人一人の光も異なっていますし、手に持っているワンドや剣なども異なっています。

或る者は、白馬の騎士のように勇ましく馬に乗っているものもいます。

それぞれが思い思いのスタイルを楽しんでいるようにも思えますが、これは、私達に分かり易いように、彼らの適性や能力の違いを象徴的に表しているようです。

創造主警備隊のリーダーは「真眼の創造主」が務める事になりました。

およそ 100 人程度の創造主警備隊は、「真眼の創造主」によってそれぞれの配置を決められていきます。

もちろん、私達にも直接警備がつくようです。これで、地球も他の宇宙の創造主に脅かされる事なく過ごせるでしょう。

第6章 多次元宇宙の光と闇 の創造主 最終決戦

PART1 見えない敵

創造主警備隊を配置した日の夜、私達はまた体の異常に襲われました。

夢の中で昔の辛い思い出を呼び覚まされ、恐怖と苦しみで体が動かなくなっていました。創造主警備隊を配置しているので、他の宇宙の創造主の介入は防いでいるはずですが、一体何が起きているのか、私達には理解できません。

いつものように、アシュタールのメンバーや多次元宇宙の創造主達が調べていますが、周りには異なる宇宙の創造主につながるゲートやコード、あるいは地球外生命体達も見えないようです。

私は、いつも体のチェックをしてもらっている「測量の創造主」に、再度私達の体にコードやゲートがつながれたり、異なる場所からエネルギーが送られていないかを調べてもらいますが、異常はないと答えます。

しかし、私達の体にはしっかりと異常が現れていますので、不思議に思い「全てのゲートを管理する創造主」に「測量の創造主」をこっそりと調べてもらいました。

すると驚いた事に、彼の後ろに大きなゲートが開いており、異なる宇宙の闇の世界につながっている事が分かりました。

彼はいつも、私達の体のメンテナンスを行っているので、他の宇宙の創造主からも狙われやすい立場にあるのです。

私達は、多次元宇宙の創造主評議会に来てもらい、事情を話しました。

「全ての世界に関わる創造主」と「真眼の創造主」がすぐにそのゲートを通して、ゲートを作った創造主を探し出しました。

それは「光と闇が戦い続ける宇宙」の闇の創造主達のグループでした。

彼等も他の宇宙の闇の創造主達と同じように、地球がアセンションする事で、自分達の宇宙でも光の力が増してくるので、地球のアセンションを邪魔しようと思ったようです。

本物の「測量の創造主」も彼らの世界に閉じ込められていました。

今回の攻撃は、「測量の創造主」のエネルギーを使って行われたため、創造主警備隊も、異なる宇宙の創造主の攻撃ではないと思ったようです。

やはり、彼らは侵略のプロですので、最初から創造主警備隊の裏をついてきたようです。

「測量の創造主」に開いていたゲートを閉じて、今回関わってきた創造主を光に帰す事で、私達の体の異変も落ち着いてきました。

戻ってきた本物の「測量の創造主」は、私達の体にさまざまなコードがつけられ異変が起きていた事に、ショックを受けていますが、何しろ相手は彼よりもはるかに強い力を持っている創造主ですので仕方がないようです。

私はこの最近の状況を見て少し不思議に思う事があり「真眼の創造主」にこっそりと相談する事にしました。

「真眼の創造主」よ、私はどうも不思議に思うのですが、これだけ多くの異なる宇宙から、闇の力を帯びた創造主が攻撃してくる理由は

为什么呢。

特に今回、創造主警備隊の裏をかいて侵入してきたという事は、アセンション前だから、というだけではないような気がするのですが。」

「真眼の創造主」も私から言われてはっと気づいたようです。

「TAKESHI さん、そうですね、私達も物理世界のアセンションを行う事は極めてまれなので、このようなものかなと、思っていました、それにしても、他の宇宙からの攻撃が多いですね。

私達の評議会の中で、まだ地球のアセンションに反対しているものがあるのでしょうか。」

「そうかもしれませんが、反対に私達に、闇の創造主達を片付けさせる事が目的で、多くの闇の創造主達を送り込んでいる可能性もありませんか、調べてみてください。」

「真眼の創造主」はしばらく考え込んで言います。

「もしかしたら「予測の創造主」が絡んでいる可能性もあります。

彼は、地球のアセンションはこのままではいけないと考えていましたから。」

私は、「予測の創造主」の事を考えると、私達の宇宙を混乱に陥れた「ひな型の創造主」の事を思わずにはられません。

おそらく「ひな型の創造主」はこの予測の創造主から生み出された創造主であるに違いないからです。

PART2 「予測の創造主」の予測

私は、今回の事を解決するために「予測の創造主」に会う事にしました。

「予測の創造主」はとてもまじめな学者タイプの人のように見えます。

もちろん高次元ですので、その本質は光ですが、私達に分かり易いように、特徴ある姿で現れてくれます。

「予測の創造主」は、初めて会う私達に、にこやかにあいさつをしながら言います。

「TAKESHI さんですね、初めまして、皆様のご活躍は「記録の創造主」からもよく聞いております。

私の予測が役にたつならば、どうか私の力をご利用ください。」

「予測の創造主よ、では正直に言いましょ。私達のアセンションがこのままではどのような状態になるか、教えていただけませんか。」

「予測の創造主」は、自分もっているコンピューターのようなものにいくつか数字を入力しているようです。

すると私達の前に大きな画面が現れました。

「TAKESHI さん、まず地球のアセンションですが、現在のまま進むと、60%以上の光の世界は問題なく成功しますが、55%から59%の世界には大きな異変が起こります。

それは、この世界はまだ多くの闇を持っていますので、この世界に生きる人々を通して、異なる世界の創造主が入り込んでくる可能性があります。

特に50%以下のディセンションした世界には闇の創造主が関わっていますので、彼らと連携して光の世界に入り込む可能性が考えられます。

今のままでは、光55%から59%の世界が、闇の世界に反転して、地球のアセンションに大き

な影響が出る可能性が予測されます。」

私もその予測を聴いて驚いていますが、彼の言う事にも一理あります。

「予測の創造主」の意見に対して、「真眼の創造主」は「予測の創造主」はすこし神経質すぎるから大丈夫だよと言います。

「神聖なる愛の創造主」は、「それぞれの世界に適した学びを行う必要があるので、闇も必要です。

きっと自分達で問題を解決するでしょう」と言っています。

しかし、多次元宇宙の創造主評議会のメンバーはすこし楽天的な所があるので心配です。

私は「予測の創造主」に尋ねました。

「それでは、55%から59%の世界を救い、アセンションを成功させるためにはどうしたらよいのですか。」

「予測の創造主」は自分のパソコンを見ながら答えます。

「55%から59%の世界を守るために、今よりもさらに多くの闇の創造主達と対戦して、彼らをあらかじめ処理する必要があります。

そうする事で、アセンションした後に、彼らが関わってくる事はなくなるでしょう。

もちろん、いくらかの闇の創造主は残りますので、その危険性は0%になったわけではありませんが、今よりはずっと良くなると思います。」

「予測の創造主」は、私を見てうなずきます。

私は、この時、現在の状況は「予測の創造主」があえて作り出した状況なのだという事を理解しました。

わざと私達に、他の宇宙の創造主のゲートをつなぎ、私達がその創造主を始末する事で、

地球のアセンションを確実なものにしようと考えているようです。

私は、予測の創造主に、次の予測をお願いしました。

「今のまま、他の宇宙からの創造主の攻撃が続けば、私達の体力や精神力に対して大きな負担がかかります。

私達のその後はどうなりますか。」

「予測の創造主」は少し困った顔をしています。

「私の予測では、地球のアセンションが成功する代わりに、お2人にとっても大きな負担がかかります。

TAKESHIさんは、何とか持ちこたえるようですが、彼女の体力が尽きてしまい危険な状況になると思われます。」

その言葉を聴いて多次元宇宙の創造主評議会におどろきが走ります。

「それでは、「予測の創造主」の予測を信じるならば、このままでは55%から59%の世界は、闇の創造主によって占領され、地球のアセンション自体が失敗に終わる可能性がある。

その事を防ぐ為に、私達が闇の創造主と闘い続ければ、私達の心と体に大きな負担がかかり、私達の命が危なくなるという事です。」

「予測の創造主」は、私をなだめるような言い方で言います。

「それは決まった未来ではありません。あくまでも、その可能性があるという事ですので、お間違えにならないで下さい。」

「もちろんそれは確定された未来ではないと理解していますが、両方とも好ましい結果ではない事も確かです。

誰か、もっと良い解決策は知りませんか。」
多次元宇宙の創造主評議会にしばらく沈黙が
流れます。

「それでは、このようにしませんか、
地球を脅かす闇の創造主や存在は、出来る
限り処理しなければならない、しかし私達の
生命を危険にさらす事はできない。
そうであれば、ここは大掛かりな罠を仕掛け、
闇の創造主達を集めて一気に片付ける、
という方法はいかがですか。
私達もただ待つだけでなく、私達のほうから
仕掛けてみたらどうでしょうか。」

多次元宇宙の創造主評議会は、お互い顔を見
合わせてうなずいています。

「「予測の創造主」よ、それでは、私達がホノ
グラム映像を仕掛けて罠を作り、そこに他の
宇宙の闇の創造主を集めて一気につかま
えてしまえば、あなたの予測はどうなり
ますか。」

「予測の創造主」はまた計算しています。
「そうですね、この罠で、地球に関わろうと
している創造主達のおそらく半数以上の
闇の創造主が捕まる事でしょう。
それによって、55%から59%の世界も
安全な世界となり、地球のアセンション
は成功する事でしょう。
そして TAKESHI さんたちの負担も消
え、無事にアセンションを迎えられる
事でしょう。」

多次元宇宙の創造主評議会のメンバーも
安心しているようです。

「それでは、「真眼の創造主」と「全ての
世界を創造する創造主」は、ホノグラ
ムの罠を作ってください。
他の創造主の皆さんも協力してくだ
さいね、

今夜この罟を実行する事とします。」

これで今夜、闇の創造主の多くを捕まえる事ができれば、私達も安心して眠る事が出来ます。

PART3 「予測の創造主」の本性と新たな恐怖

私達、この後仕事のために会社に向かいましたが、「予測の創造主」との話は続いています。

私は、「予測の創造主」に、異なる宇宙の創造主達が、私の元にたくさん現れてきたのは「予測の創造主」が、地球のアセンションを完璧なものにするために、あえて私達にそのようなコードをつなぎ、闇の創造主を呼んだのではないかと、問い詰めました。

「予測の創造主」は困った顔をしています。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ありませんでした。

多次元宇宙の創造主評議会の皆さんは、楽天的なので闇の創造主の恐ろしさを十分ご存じないのです。

このままでは、地球のアセンションが失敗する可能性が出てきましたので、皆さんの実力や「真眼の創造主」の協力状況を見ながら、闇の創造主を送り込んでおりました。

これもすべて、地球のアセンションの為ですのでご理解ください。」

私は「予測の創造主」を見て答えます。

「やはりそういう事でしたか、しかし私達に相談せずに、私達にそのような事をするのは許されない事です。

今迄もそうでしたから、あなたもそれで済むと考えたのですか。

「いえ、そういうわけでないのですが…」
「予測の創造主」は、いくつも言い訳をしてきましたが、まあ仕方がない事ですので、今夜の創造主の罠にすべてをかける事にしましょう。

「予測の創造主」が帰った後に、私は「真眼の創造主」を呼び出しました。

「真眼の創造主」よ、あなたに調べてもらいたい事があります。

実は「予測の創造主」の背後に、不審なゲートがないか調べてください。

彼がどのような世界とつながっているか調べてほしいのです。」

「真眼の創造主」は、なるほど、という顔をしてすぐに去っていきました。

しばらくすると「真眼の創造主」が戻ってきましたが、青ざめた顔をしています。

私が、どうしたのですかと尋ねると、困惑した表情で答えます。

「TAKESHIさん、確かに「予測の創造主」の後ろには、大きなゲートがありました。

しかも「予測の創造主」そのものも本物ではないようです。

私もどうしてその事に気づかなかったのか不思議ですが、ゲートをたどるとその理由が分かりました。

そのゲートの先は、私達が決して足を踏み入れてはならないもう一つの世界につながっていたのです。」

「真眼の創造主」よ、もう一つの世界とはどのような世界なのですか」と私は尋ねます。

「かつて私達を生み出した創造主は、この多次元宇宙の元となる「根源の世界」に、光の世界と闇の世界を作られました。

最初は、お互いが協力して宇宙の創造を行っていたのですが、やがて闇の世界が光の世界を飲み込もうとし始めたのです。

闇の世界は大きなカオスそのものですから、私達の光の世界はその中に引き込まれようと思いました。

それを見た創造主様は、私達の多次元宇宙の元となる世界を2つに分かたれたのです。

ひとつは、私達の「根源の光の世界」、もう一つは「根源の闇の世界」です。

そしてこの世界は決して交わってはならないと決められました。」

「「真眼の創造主」よ、やはりこの世界にもそのような分離はあったのですね。」

「そうなんですが「予測の創造主」の後ろに、この世界とつながるゲートがあったという事は、彼を後ろで操っているのは、「根源の闇の世界」の創造主という事になります。

もし彼らが、このゲートから大拳して押し寄せてきたら、私達はひとたまりもないでしょう。

彼等は、常に「根源の光の世界」を自分達で支配しようと考えていますから、機会を狙ってやってくると思います。」

「「真眼の創造主」よ、それはいつの事になりそうですか。」

「おそらく今夜でしょう。

私達が異なる宇宙の創造主を捕まえる罠に気を取られている間に「予測の創造主」のゲートから一気に押し寄せてきて、私達を挟み撃ちにしてしまうでしょう。

そうになると、創造主警備隊がいても、かなわないでしょう。」

「しかし、創造主警備隊がいてくれただけでもありがたいです。

今夜は、創造主警備隊や光の創造主を総動員

して、彼らを迎え撃つしかないのではないですか。

そうですね、まず創造主警備隊を今の100人から、こっそりと300人に増やしましょう。

残りの200人を「予測の創造主」のゲートの近くに配備しておきましょう。」

私達は、「予測の創造主」に気づかれないように、創造主警備隊を増やし別の空間に隠しておきます。

「彼等を抑え込める創造主は、あなたの上位にはいらっしゃらないのですか、」と私は尋ねます。

「私達の上位にも創造主はいらっしゃるのですが、果たしてどうでしょうか。」

「真眼の創造主」は自信なさそうに言いました。

PART4 根源の世界の創造主

私は上位の創造主にお会いできるように祈り始めました。

すると、私達の前に、大きな黄金色の光と白銀の光り、青銅の3つの光が現れました。

「真眼の創造主」はその光を見ると嬉しそうにしています。

「伝説の創造主様です。

全ての根源の世界を作りあげ、そして光の世界と闇の世界を分かたれた創造主様です。

今も、まだ私達の前に現れてくださるとは奇跡です。」

3つの光の中心に立つ黄金の創造主が私達の前に姿を現しました。

「私達は、この時をずっと待っていました。

この根源の世界は、もともと一つの世界でしたが、新たな創造のために、光の創造主と闇の創造主が作られました。

この2つのグループの創造主は、本来はお互いを鏡として協力しながら創造を行っていました。

しかし、この2つのグループの創造主は、お互いがお互いの鏡である事に満足せず、自分達の優位性をともに主張するようになりました。

光の創造主は、自らの光で闇の創造主達を消し去ろうとしましたし、闇の創造主は自らのカオスの中に光の創造主達を飲み込もうとしました。

2つの根源の世界の創造主達は、お互いを憎み、お互いの創造の邪魔をするために、相手の世界にさまざまな干渉を行いました。

長い期間、そのような抗争が続きました。

私達は、その様を見てとても心苦しく思い、彼らの世界を2つに分ける事にしましたのです。

根源の光の世界と根源の闇の世界です。

2つの世界は、交わる事がないようにしっかりと閉ざされ、独立した世界になったのです。

この2つの世界はスピリチュアルな世界では、ほとんど出会う事がなかったのですが、地球が生まれてそこに文明が営まれる事によって、この地球の物理次元に光と闇の世界が同時に存在するようになりました。

2つの根源の世界の創造主は、地球の物理次元に生きる人々を通して、他の世界へと介入する事が出来るようになったのです。

地球に生きる人のスピリチュアルな世界をとおして、多くの闇の創造主が光の世界へと入り込んできました。

その事によって、この地球や地球が属する宇宙に、根源の闇の世界の創造主達が入り込み、適切ではない深い闇の世界を作りあげていったのです。

光の創造主と闇の創造主は、長い事争ってきました。

しかし、光の創造主をはじめ、光の存在達の多くが闇の創造主達の手にかかり、命を失ってしまいました。

私達、根源の世界を生み出した創造主は、いつかこの闇の創造主達を光の世界から一掃して、光の世界を作り変えなければならないと考え、何度も試みたのですが、いつも闇の創造主達の手によって計画は挫折させられてしまいました。

そして、何千年もの間、私達は、あなた方がこの世界にやってくるのを待ち続けたのです。

地球はこれからアセンションを迎え、光の世界と闇の世界に分かたれます。

そうする事で、根源の光の世界と根源の闇の世界が同時に存在し、出入りできる場所もなくなります。

地球のアセンションが完成する事で、根源の世界の光と闇も分かたれるのです。

しかし、その前に私達は行わなければならない事があります。

それは、あまりにも横暴になった根源の闇の世界の創造主達を光に帰す事です。

彼等は自らの理性と愛によって宇宙を創造する事を忘れてしまいました。

まるで子供か侵略者のように、自分が欲しい物を奪い貪るのです。

彼等にあるのは支配欲と自己中心的な快楽を求める気持ちだけです。

彼等を光の世界に関わらないように分離したのですが、さまざまな方法を使って光の世界に入り、良心的な創造主達をだまして、自分達の手下にしてしまい、光の世界をも支配しようとしたのです。

幸い最高次元の創造主様がこの事を憂い、皆様を地球に降ろし、物理世界から順次上の世界へと登らせ、その世界の問題を細かく調べ解決していく事が出来ました。

そして、皆さんは、長い道のりを経て、多くの闇に落ちた創造主達を光に返しながら、この場所までやってきてくれました。

これからアセンションを迎える皆さんの宇宙には、闇に落ちた創造主はほとんどいなくなりました。

しかし、ディセンションする世界は、闇の世界の創造主達が治める事になりますので、ここは闇の世界に属する事になります。

地球のアセンションを機会に、根源の光の世界と闇の世界は再びしっかりと別れる事になります。

地球のアセンションの最終目標は、完全に根元の光の世界と闇の世界を分かつ事です。

ここ数千年以上の間、争いを続けていた世界を2つにしっかりと分け、お互いが干渉しない世界にする事です。

そして根源の闇の世界も創造主として理性と尊厳をもった創造主達によって収める事が出来るように、創造主としての資格に欠ける創造主達を取り締まる事です。

今夜そのチャンスが巡ってきます。

おそらく根源の闇の創造主は、偽物の「予測の創造主」のもとに開いているゲートを通じて、こちらの世界に入り込んでくるでしょう。

その時をねらって、彼らを捕まえ光に返しましょう。

そうする事で、根源の闇の世界から、創造主の資格に欠ける者達を一掃する事が出来ます。

これは、このような世界を作った私達の責任でもありますので、私達の最後の仕事としてしっかり努めさせていただきたいと思います。」

この言葉を聴いていた「真眼の創造主」が体を震わし泣いています。

きっと長い時期、光の創造主と闇の創造主の抗争を見てきたのでしょう。

「偉大なる黄金の創造主よ、わかりました。私達も、皆さんと共に根源の世界を適切なものにするために努力しましょう。どうか今夜はよろしくお願いします。」

PART5 多次元宇宙の光と闇の創造主 最終決戦

私達は夜に備えて、配置を考えています。

多次元宇宙の創造主評議会とすでにつくってある創造主警備隊の 100 名は、「予測の創造主」から怪しまれるといけないので、全員が他の宇宙の創造主を捕まえる罠へと向かい、罠におびき寄せられてきた創造主達を捕まえます。

そして「予測の創造主」が持っている根源の闇の世界のゲートの後ろに、黄金の創造主によって特別な空間を作り、そこに今日新しく作った創造主警備隊の 200 人と私達の宇宙の光の創造主達、宇宙警備隊、「創造主を守護する創造主」の一団を隠します。

夜の 20 時頃になりました。

多次元宇宙の創造主評議会が作ったホノグラムが起動しています。

「根元の闇の創造主」が、光の世界の創造主達を倒し闇の世界が出来上がったという映像を流します。

いくつもの闇の世界にも、このホノグラムが流されていきます。

さまざまな空間から、光が煌めき、ゲートが開いて闇の創造主達が飛び込んできます。

闇の創造主がホノグラムに近づくと「全ての世界を創造する創造主」が作った特別な空間に吸い寄せられていきます。

ホノグラムの周りでは、光の創造主が闇の創造主のふりをして、他の創造主を迎え入れている様子をしています。

このホノグラムに気づいた創造主が逃げ出そうとすると、闇の創造主に化けた創造主警備隊が後を追いつまえていきます。

ホノグラムを中心として様々な光が飛び交っています。

その時です。

「予測の創造主」の後ろにあったゲートが大きく開きました。

ちょうどホノグラムの罨を見ている創造主の背中側に大きな光が輝き、「根源の闇の創造主」達が多数現れてきました。

「根源の闇の創造主」達は、多次元宇宙の創造主評議会のメンバー達に襲いかかろうとしています。

危険を察知した創造主評議会のメンバーは左右に分かれて逃げます。

その瞬間、黄金の創造主が上空に現れ、大きく杖を振りました。

黄金の創造主が作った空間が、一気に開き、その中から 200 人の創造主警備隊や光の創造主達が飛び出してきて「根源の闇の創造主」達を左右から挟み込むようにして捕まえていきます。

「根元の闇の創造主」達は、黄金の創造主や白銀の創造主達の姿を見て驚いています。自分達のたくらみがばれてしまい、反対に捕えられてしまうとは思ってもいなかったようです。

そして 3 人の創造主だけでなくおびただしい数の創造主警備隊にとりかこまれ降参状態です。

黄金の創造主が闇の創造主に向かって、まるで父親が息子に向かって話をするように話しています。

「闇の創造主達よ、あなた方はどうして創造主としての尊厳を捨て去り、他の創造主をだましたり傷つけたりするような存在に落ちてしまったのですか。

私は、あなた方が光の創造主と共に、協力し合って素晴らしい世界を創造できるように祈っていたのですが、私達の願いはかなえられる事はありませんでした。

私達は、あなた達を根源の光に戻します。

今度生まれてくるときは、きっと素晴らしい創造主として出直してください。」

3 人の創造主が杖を振ると、「根源の闇の創造主」達が次々と神聖な光に包まれ消えていきました。

その荘厳な光を前に、光の創造主も立ちすくんでいます。

やがて捕えられた全ての「根源の闇の創造主」達が光に帰って行きました。

「それでは、根源の闇の世界に入りましょう」と黄金の創造主は言います。

3人の根源の創造主を先頭にして、多次元宇宙の創造主評議会のメンバーと光の創造主達、そして創造主警備隊が次々と光りのゲートをくぐり、根源の闇の世界へと入っていきます。

私達は、黄金の創造主と白銀の創造主、青銅の創造主の3つのチームを作り、そこに光の創造主と創造主警備隊が分かれて参加します。

それぞれのチームは異なる世界に入り、そこを支配している創造主達を光に帰していく事が目的です。

根元の闇の宇宙に属する一つの世界にはいると、そこは混乱した廃墟のような世界です。得体のしれない存在達がたくさんいて、お互いが傷つけあったりしています。

また力を持っているものがすべてを支配する世界でもありますので、多くの者が奴隷のように働かされ、傷ついた者は更に鞭打たれ、ぼろきれのように捨てられていきます。

私達は、あまりの醜さ、惨さに顔をそむけたくくなります。

創造主警備隊はその中でも、世界の隅々まで探しまくり、強欲で自己中心的な創造主達を見つけだし、それぞれのチームの根源の創造主のもとに連れて行きます。

根元の創造主は杖をふり、闇に落ちた創造主達を光に帰していきます。

私達は気分が悪くなってきたので、早めに元の世界に戻る事にしました。

創造主警備隊のメンバー数名に守護され、ゲートを通過して元の世界に帰ってきました。

創造主警備隊は、私達を戻すと、仕事をする

ために、またゲートをくぐって闇の世界に戻っていきました。

周りを見ると、数名の光の創造主も、あまりの醜悪さに耐えかねて戻ってきています。

やがて数時間たった頃、各チームのメンバー達が戻ってきました。

皆さんだいぶ疲れているようです。

特に光の創造主達は、いつも自分達がいる世界とは、あまりにも波動が違いすぎるので、自分たちの光も弱弱しくなっています。

私達と共に、すぐに光の世界に戻ってきた創造主達は、疲れ果てた光の創造主達のお世話をしています。

黄金の創造主が皆を前に語ります。

「光の創造主達よ、この宇宙には、光と闇がともに必要です。

光と闇はともにお互いを尊重し助けあわなければなりません。

光が闇よりも優れているとか闇が光よりも力強いとか、思わないでください。

どちらも個性があり、どちらも必要なのです。

しかし、皆さんも闇の創造主達もこの事を忘れ、お互いを敵対視して争ってしまいました。

その為に、私達は根源の世界を光と闇に分けて、皆さんが接する事がないようにしましたが、闇の創造主は、私達の忠告を聞かずに、光の世界に入り込んできました。

そして、光の世界の創造主をだまして支配欲を持たせ、光の世界の中に、強力な闇の世界を作りあげてしまいました。

「根元の闇の創造主」達は、皆さんの世界を侵略し、光の世界さえも闇の世界にしてしまおうと計画していました。

しかし、その計画は決して実現させてはいけ

ない計画でしたので、私達を生みだした創造主は、そのスピリットの分身を地球に降ろし、地球のアセンションを行う事で、この宇宙の光りと闇を適正なものにしようと思ったのです。

そして、今日、多くの勇気ある創造主達の協力のもとで、光と闇の創造主が争う時は終了しました。

これからは、闇の世界も適正な闇の世界に変わり、彼等が光の世界を脅かす事もなくなるでしょう。

どうか、闇の創造主達の脅威におびえる事なく、皆さんの世界を自由に創造してください。」

光の創造主達は、黄金の創造主の言葉を聴いて涙を流しています。

今迄、数えきれないほどの苦しみと困難を味わってきたのでしょうか。

PART6 新たな世界を統治する「光彩の創造主」

根元の光と闇の創造主の最終決戦が終わった翌日、黄金の創造主達が私達のもとに現れました。

「TAKESHI さん、本当に昨夜はありがとうございました。

皆さんのおかげで、私達の長い間の苦しみも終わりました。

私達がつくりだした創造主とはいえ、私達の思惑をはるかに超えて粗暴な創造主になってしまいました。

そして、目に余るほどの大きな闇の世界、闇の宇宙をいくつも作り出してしまったのです。

その事によって、光の宇宙も影響を受け、様々

な混乱や疑惑のエネルギーが入り込んでしまいました。」

3 人の根源の創造主は、私達に深々と頭を下げながら話します。

「光の創造主達は、本来疑う事を知らない純粹なスピリット達ばかりですので、闇の創造主達の言葉にすぐにだまされてしまいます。

また注意深い創造主達も、偽物に変えられたり、コントロール・チップをつけられたりして、闇の創造主達にコントロールされる事になってしまったのです。

このままでは、光の宇宙はすべて、闇が多い宇宙になってしまおうところでした。

今はまだ、光が強い世界もやがて、闇の力が大きい世界にかえられていった事でしょう。」

「皆さんが、いままで皆さんの宇宙の光の創造主達の世界をしっかりと作り変えてくださった事で、私達は大いなる希望を抱きました。

そして、いくつもの宇宙を統治する創造主達の世界も適正なものに変えてくださいました。

私達は、この時を待っていたのです。

私達が今まで願い続けていた「根源の闇の創造主」達を光に返し、根源の光と闇の創造主の戦いを終わりにしたかったのです。

そして、それも終わりました。

私達は、もう長く生き過ぎたようです。

私達は、これで安心して根源の光に戻る事が出来ます。」

根源の 3 人の創造主は、根源の光と闇の相克を解決する事を、何千年もの間願い続けてきたのでしょう。

それが解決する事で、この多次元宇宙も新しいものに変わりますので、自分達は引退して新たな創造主に後を引き継ぐようです。

「偉大なる根源の創造主よ、皆さんの長い間の努力が実り、新しい宇宙に生まれ変わる事が出来て本当に良かったと思います。

皆さんも、光に帰りゆつくりと休まれてください。」

私の言葉を聴くと、3人の根源の創造主は安らかな顔をして光に帰っていきます。

根源の創造主が光に帰ると、上空からさらに大きな光が降りてきました。

私達は、その光を見上げ、新たにいくつもの宇宙を司る光の創造主が生まれ出てきた事を感じます。

私達のハートに、新たな創造主の声が響きます。

「TAKESHI さん、本当にご苦労さまでした。

黄金の創造主達も長い間の願いが叶い、この多次元宇宙の闇をしっかりと処理する事が出来たので、喜んで根源の光のもとに変える事が出来ました。

私からも、お礼を言いたいと思います。」

新たに生れ出た創造主が、丁寧にお辞儀をします。

「私は、彼らによって作られた世界を新たなものにする事が役目です。

私の事は「光彩の創造主」と呼んでください。この世界を、新たな輝きで満たし、光と闇のバランスが取れた世界にしていきたいと思えます。

そして、TAKESHI さん達は、この目的のために、私のスピリットの一部を地上に降ろされたのです。

私のエネルギーを受け取っている「全てのエネルギーを生みだす創造主」「光と闇の統合の創造主」を通して、私のエネルギーは、地球に降ろされ、あなたを生みだしたのです。」

私も、多次元宇宙の創造主評議会のメンバーから、私のスピリットの元となるエネルギーは更に上位の創造主である事を聴いていたので、「光彩の創造主」の話もしっかりと受け止める事が出来ます。

「光彩の創造主」よ、あなたにお会いできて大変うれしく思います。

いつかはあなたにお会いできると思っておりました。

どうかこれからもよろしくお願いいたします。」

「光彩の創造主」は、地球のアセンションを行う事で、この宇宙の秩序を再び作り上げる事を考えていたようです。

「光彩の創造主」が出てきてくれた事で、これからの地球のアセンションもさらに進んでいく事になりそうです。

第7章 新たなスターピープル達

PART1 新たなスターピープル達の来訪

根源の光と闇の創造主の最終決戦が終わった翌日から、ファースト・コンタクトの動きがさらに大きくなります。

今迄に地球の人達をサポートしてきたスターピープルに加え、新たなスターピープル達が地球のアセンションをサポートするために、地球にやってきました。

○エルフのスターピープル

翌日の朝に私達の前に現れたのは、美しいエルフのようなスターピープルです。

彼らはとても美しい宇宙船でやってきてくれました。

「TAKESHIさん、そして皆さん、お会いできてうれしく思います。

私達はアルクツールスの近くにある星からやってきました。

私達は、今の地球を見ると、多くの人が夢や希望を失い、ただ生活する為だけに生きているような気がします。

これから光あふれる地球が生まれてきます。私達は、そのような地球で生活する人々、そしてそのような地球に生れてくる子供達が、夢や希望にあふれて幸福な人生を送れるようにサポートするためにやってきたのです。」

私達もとてもうれしく思い、彼らを迎え入れます。

彼等が来た星は、とても美しく宇宙の宝石と

呼ばれている様な星です。

その星には、不思議な力を持つエルフ達をはじめ、創造性にあふれたフェアリー達や叡智あふれるユニコーン達がたくさん暮らしています。

まるで、夢の世界のようです。

さまざまな文明が生まれる前の地球にもこのような存在がたくさん住んでいたと聞いていますが、いつしか彼等は地球の異なる次元に追いやられてしまいました。

彼等は、この地球に夢と希望を与えに来てくれたようです。

今の地球人達が、生活に追われ夢を失っていく事で、地球には、夢と希望のエネルギーが少なくなってしまうました。

彼等は、人々に再び夢と希望を与え、楽園のような地球が生まれてくる事をサポートします。

きっと彼らが関わる地球には、美しい花が咲き乱れ、花の木陰ではフェアリーたちが安らぎ、空にはペガサス、大地にはユニコーンたちが走り回る事でしょう。

もちろん海には美しいマーメイドとイルカたちが戯れる世界となるのでしょう。

彼らと話をしていくうちに、私は一つの星の事を思い出しました。

それは、星のツアーの時に出会った星で、フェアリーやユニコーンたちが暮らしていた美しい星だったのですが、侵略を受け破壊されていました。

彼等はとても純粋で、疑う事を知らない生命達ですので、或る時星にやってきた侵略者達に星を奪われ破壊されてしまったのです。

少しだけ生き残っていたフェアリーやエルフ達も恐れの中で傷ついていました。

私は、星の再生を行う「ゴールドボックス」を使い、この星を元の緑あふれる星にしてあげました。

そして、白鳥座にあるフェアリーの星の女神に頼んで、傷ついていたフェアリーやエルフ、ユニコーンたちを癒してもらいました。

私は、この星が二度と侵略されないように、魔法使いたちに頼んで、外からは見えないように隠してもらい、この星が二度と侵略をうけないようにしてあげたのです。

彼等を見たアシュタールのメンバー達も、彼等はほとんど星の外に出る事はないのに、地球のアセンションのために応援に来てくれた事を大変不思議がっていました。

きっとその時の恩返しをするために来てくれたのでしょう。

○クワトロ星人

そして夜にはもう一つの星のスターピープル達がやって来ました。

彼等はシリウス星の近くの星から来てくれた存在で、私達はクワトロ星人と呼ぶ事にしました。

彼等は非常に優れた叡智を持っている存在で、特に医療や様々な技術に優れています。

この地球で、人間の医療や生体工学、遺伝子工学、老化に関する研究を行い、人間のライト・ボディ化を進めるために、この地球にやって来てくれた存在です。

アシュタールのメンバーとも仲が良く、共に活動している存在のようです。

彼等は、特に光50%以上の世界に進む人達の体と意識の調整を行い、光が強い世界にきちんと適応できるようにするようです。

そして、光が多い世界では、人々は病気をし

なくなり寿命も延びますが、そのための遺伝子操作や生体の構造の変化などを司っていくようです。

○アスマリア星人

クワトロ星人が現れて1週間後、新たなスターピープルが現れてきました。

私達がアスマリア星人と呼ぶスターピープルは、クワトロ星人と同じシリウス星がある大犬座の星系の星からやってきた人達です。

彼等は、クワトロ星人が人々の体や遺伝子などの生体の調整を行う事に対して、意識やスピリチュアルレベルの調整を行うようです。

私達人類は、地球の物理的な世界の中で生きてきましたので、考え方に柔軟性がありません。

また、常に自分の思考や能力、行動に対して制限を行い、本来持っている力を発揮できないようにしています。

アスマリア星人は、そのような私達の制限を取り除き、新たな意識状態にするためにサポートに来てくれたようです。

そしてアスマリア星人は、クワトロ星人が私の体をライト・ボディにするために働いているように、私の意識やスピリットを大きく変容させるためにやってきたようです。

私も、もう長い間地球人として生きてきましたので、地球の常識や制限に慣れてしまい、自分本来の意識状態とはだいぶかけ離れているようです。

私もこれから光50%台の世界に入りますから、私の思考を変えるために彼らはやってきてくれたようです。

アスマリア星人は私達ににこやかに話しかけ

てきます。

「TAKESHIさんたちにお会いできる日を楽しみにしていました。

私達が持つ叡智を皆さんと分かち合える日をととても楽しみにしておりました。

皆さんは地球に長い間生きてきたために、自分自身は神々から創造された支配されるべき存在であると思うようになってしまいました。

しかし、たとえ皆さんが、神々から創造された生命であったとしても、皆さんは十分に自由であり自らの創造性を持って生きています。自分自身が新たな創造の中心であり、あなたの中からすべてが始まってくる事を知ってください。

あなたがその事に気づくならば、あなたはもはや人間の領域を超えて素晴らしい存在となれるのです。

あなたがたは、もっと柔軟で軽やかに、自分の世界を飛翔できる存在です。

誰一人として、あなたを支配し、抑圧できる人はいなくなります。

どうか自分の事を、もっと大切にしてください。

そして、あなたの意識が大きく変わり、新たな光の世界に旅立てる事を喜んでください。」

PART2 根源の闇の創造主が残した傷跡。

クワトロ星人が、私達の前に現れた日の夜から、クワトロ星人による私の体のライト・ボディ化がはじまりました。

私も長い間、会社の経営やスピリチュアルな活動に関わってきたために、体の様々なレベルに問題があるようです。

光50%以上の世界に行くために、私の体から不要なエネルギーやコードを取り除き、最終調整を始めるようです。

先ず私の体から大きな黒いガラスの盾のようなものを外しています。

こんなものがどこにあったんだというくらい大きなものです。

この黒い盾の事を聞くとクワトロ星人は答えます。

「TAKESHI さんは、いままで様々なスピリチュアルな仕事を行ってききましたし、アセンションが始まって闇の存在達からはさほど大きな攻撃を受けてきませんでした。それはこの盾によるものです。

あなたのスピリットの一部は「光と闇の統合の創造主」の物ですから、あなたの中には大きな光もありますが、それに負けないくらい大きな闇の力もあります。

あなたは、光の存在や大天使達と向き合う時、あるいは宇宙の光のメンバー達を導く時は光の部分を使いますが、闇の創造主や闇の存在と闘う時、あるいはアチューメントなどで闇の力を持っている人のヒーリングを行う時には、闇の側面を表に出します。

この闇の側面は、創造主クラスのパワーを持っていますので、そうとう大きな力を持つ創造主でなければ、この闇の盾を突き抜ける事はできません。

殆どの闇の存在が、この闇の盾のパワーの前で怖気づいてしまい、あなたには手出しができません。

しかし、これから光の世界に行くためには、この闇の盾は不要ですので外します。」

クワトロ星人はそう言いながら黒い盾を外し

ます。

私は、彼らの説明を聞いてびっくりです。

今迄、アチューメントやヒーリング、星のツアーなどを何年も行ってきましたが、相手のエネルギーに影響されたり、ネガティブなエネルギーの攻撃を受ける事はほとんどありませんでした。

それが、この「光と闇の統合の創造主」の闇の側面である黒い盾のおかげだったという事が分かりました。

たしかに、「光と闇の統合の創造主」の力を大きく上回る闇の創造主のサイキックアタックは辛く感じた事もありますが、「光と闇の統合の創造主」の下のクラスの創造主や闇の存在のサイキックアタックは、この盾が跳ね返してくれていたようです。

長い間、私を守ってくれていた盾に感謝です。

次にクワトロ星人は、大きな鍋蓋のようなものをお腹から取り除いています。

その時から、お腹がどんどん痛くなってきました。

私はクワトロ星人に、一体どうしたのですか、と尋ねました。

「これは、かなり厄介なものがこの下に隠されているようです。

簡単に取り外しができないように、大きな蓋のようなもので隠されているのです。」

私は自分達の体は、「測量の創造主」やホワイトホノグラム星人に何度も調べてもらったのに、このようなものは発見できなかった事を伝えました。

「そうですね、この仕組みは、極めて肉体と密接に関わっていますので、彼らには見えにくい場所にあります。

そして、この仕掛けは、おそらく「根源の闇の創造主」が関わっていたために、「根源の闇の創造主」を始末してからでないとはりはずせない仕組みになっています。」

エレナさんが横から説明してくれます。

「私達も、「根源の闇の創造主」を全て片づけるまでは、TAKESHI さん達に、光50%以下の世界にいてもらいました。

そうしなければ、「根源の闇の創造主」達と関わる事が出来なかったからです。

そして、「光と闇の統合の創造主」の盾もこの「根源の闇の創造主」が作ったゲートもそのままにしてありました。

そうする事で、「根源の闇の創造主」には、TAKESHI さんを自分がコントロールできるだろうと思わせる必用があったのです。

TAKESHI さんが、「根源の闇の創造主」が作ったゲートを自分で外したなら、きっと彼らは、本気になって TAKESHI さんをつぶしに来た事でしょう。

「根源の闇の創造主」が本気を出してかかってきたら、私達では到底太刀打ちできませんから、彼らを油断させておく必要もありました。」

私にとっては背筋が寒くなる話です。

エレナさんが話をしている間にクワトロ星人が、大きな黒い箱と玉のようなものを見つけました。

「ようやく見つけました。

この黒い箱は、TAKESHI さんからエネルギーを奪いたいと考えている人達につながっています。

今迄、一緒に活動してきた人達やアチューメントやヒーリングを受けてきた人達、会社の人達

の中で、TAKESHI さんに依存したり、救ってもらおう、面倒を見てもらおうと考えている人達にコードがつながれ、常に TAKESHI さんのエネルギーがその人達に流れ込んでいくようなシステムになっています。

その中の多くの人達は、学びの世界に行く事になりますから、TAKESHI さんのエネルギーは、その人達を通して学びの世界に常に繋がれていく形になります。」

私にとってもこれは大変な問題です。

何度かそのようなコードが今までに発見されて分離したり外したりしてきたのですが、今迄に見た事もないほどに大きなコードが体の内側に残っていたようです。

私は「根源の闇の創造主」の仕掛けた罠がさらに浮かび上がるように、「光彩の創造主」にお願いして光を送ってもらいます。

「もう一つありましたよ、今度は黒い球ですね。

これは、TAKESHI さんの事を羨んだり、自分の事を考えてもらいたい、大切にしてもらいたいと考えている人の感情やエネルギーを TAKESHI さんに送り込むためのものです。

この黒い球によって、TAKESHI さんに自分の感情を送り込み、サイキックアタックのように作用させているのです。」

これは、私が社会活動やスピリチュアルな活動を始めた 20 代の中頃からつけられ、およそ 30 年もの間、私の肉体の内部で私のエネルギーを奪い続け、私から活力や能力を奪い続けてきたコードです。

そして、私の仕事や活動を妨害するために、ねたみや憎しみの感情を私に送り込んできたようです。

この黒い箱と黒い球に負けずに、今迄会社を

経営し活動を続けてこれたのは、私を守護しサポートしてくれた創造主達や大天使達のおかげです。

この黒い箱と玉を取る時、私のお腹の痛みも激しくなり、身をよじりながら我慢をしています。

しかし、これを取り去らない事には、私の肉体は、ライト・ボディになる事はできません。

「TAKESHI さん、これは創造主のスピリットを持つあなただからこそ、このような事が起きているのです。

「根源の闇の創造主」は、あなたがそのような存在である事を早くから知って、あなたの能力が開花しないように、あらかじめこのような細工をしていたのです。」

エレナさんは、クワトロ星人の仕事を見ながら言います。

「「根源の闇の創造主」が、皆さんによって倒されたので、やっとこの仕組みを取り外す事が出来るのですよ。

その為に、この宇宙で最も医療技術が発達しているクワトロ星人が来てくれたのです。

これであなたの体も、やっとライト・ボディに移り変われますよ。」

クワトロ星人の仕事もだいぶ進んでいます。

この黒い箱と黒い球のほかにも、私の情報を知らせる発信装置も残っていたようです。

ようやく仕事が終わると、私のお腹の痛みもだいぶ和らいできました。

これからは、私もライト・ボディ化して、光の世界に行く準備をはじめたいと思います。

さあ、次に起こるのは、いよいよファースト・コンタクトでしょうか。

第8章 ファースト・コンタク

ト会議 第2回

PART1 人々の意識を目覚めさせるための方法

2016年6月になったばかりの夜の事、スターピープル達が集まっています。

どうやら、ファースト・コンタクトの日程や方法などについて議論しているようです。

アシュタールのエレナさんが話をしています。

「私達は、地球人に求められる形で、スターピープルとのファースト・コンタクトを行いたいと考えていますが、現在の地球人の意識状態では、たとえ50%以上の光の世界に行く予定の人でも、スターピープルやアセンションに対する意識が低いのが現状です。

一人一人の個別のファースト・コンタクトを行ってみても、それによって地球人の意識が大きく変わる様子もまだ見えてきません。

私達は、地球規模のファースト・コンタクトの日程を少し遅らせて、最終期限の9月に行いたいと思います。」

スターピープル達は、光50%以上の世界に行く人達に照準を合わせて、個別にファースト・コンタクト行っているようですが、人々の意識を目覚めさせるためには時間が不足しているようです。

現在、地球規模でのファースト・コンタクトは、人々の意識を少しでも高めてから行おうという計画となっていますが、それまでに、もっと多くの人々の意識を目覚めさせる必要があるようです。

そうでなければ、いきなり大きな宇宙船が日本の上空にあらわれ、スターピープル達が現れたとしても、自分達が侵略されるのではないかという不安や恐れ、あるいは、このような存在達がいる事さえも知らない人達にとってはパニックさえも巻き起こしてしまいます。

そのために、天使達とスターピープルが協力して、人々の夢や意識の中に現れ、スターピープル達の存在を印象付け、ファースト・コンタクトの印象を恐怖から喜びへと変えたいというのが、今回の個人的なファースト・コンタクトの目的でした。

しかし、現状ではこの個人的なファースト・コンタクトさえも十分に機能していないようですので、他に方法はないか探しているのです。私は、ファースト・コンタクトの方法について話をします。

「アシュタールの意見はよくわかります。地球の人々は、自分達の生活や個人的な事に意識がとらわれ、たとえ天使やスターピープルが現れてきたとしても、それが自分自身の意識進化のために現れてくれた事に気づきません。

一部の人を除いて、ただ天使が現れたと有頂天になってしまうだけでしょ。

この方法もやり続ける事で、皆さんの意図を理解してくれる人は増えるかと思いますが、他の方法も考えなければなりません。」

私は、スターピープルの中の一つの種族である天珠族に、ファースト・コンタクトに向かう方法を聴いてみました。

「私達は、地球の自然災害を起こして、人々がお互いを助けあうという事に目覚めさせるの

が もっとも効果的な方法だと思います。
やはり通常の事では、人々は目覚める事はありませんから、大変危機的な状況を作りだし、その危機を人々が力を合わせて乗り越える経験をさせるのがもっともよい方法だと思います。

そして自然の偉大さや自分達が地球に対して行ってきた破壊的な行為に対する反省も生まれてきます。」

たしかに天珠族の言う事は間違っていないのですが、その為に人間の犠牲者を出すのは決して許されるべき事ではないようです。

私は、この物理的な地球と宇宙を支える創造主達にも参加してもらい、さらに話を続ける事にしました。

創造主の中には、この案を支持する創造主もいます。

「審判の創造主」のようです。

「確かに、地球はいくつもの大災害を乗り越えて意識進化してきました。

そして人々の命が災害で奪われるたびに、人々は祈りをささげ、お互いを助けあって生きてきました。

アセンションの時には、必ずこの事が行われたのです。

戦争と異なって、自然災害であれば、人々は特定の国や人々を恨む事はありません。

自然災害が起こる事で、人間の集団意識の中で大きな進化が生まれてくるのです。」

私は「審判の創造主」に言いました。

「確かに自然災害は、多くの人々の意識を一度に変える事が出来るかもしれませんが、そのために多くの人々が傷つけられるのは決して良い事ではありません。

それは、誰かが犠牲になって、人々の意識を

高めるといふ「自己犠牲」の考え方につながっていきますので、本来の意識進化にはつながらないかもしれません。」

他のスターピープル達と言います。

「自然災害の時に、スターピープル達の大きな母船が現れて、人々を救うという方法はどうかだろうか。

人間はスターピープルを神として崇めるのではないだろうか。」

アシュタールのメンバーがその言葉に反論します。

「地球のアセンションは、地球人が依存心を捨て、宇宙意識を持つために行われるものですから、母船が地球の人々を災害から救うという事は控えたいと思います。

地球人自身の力で乗り越えていく事が必要です。」

他の創造主が口を挟みます。

「それでは、地球人が、地球の技術を進化させて、自分の力で自然災害を回避するというシナリオにすれば、地球人は自分たちに対して、もっと自信を持つのではないのでしょうか。

その事が地球人の意識進化につながります。」

しかし、ファースト・コンタクトの最終期限は今年の9月ですので、到底間に合わない話です。

PART2 スターピープルの医学による奇跡と親子のテレパシー

私は、この自然災害以外の方法について皆さんが思いつかないか尋ねてみました。

天の川銀河をはじめ宇宙の物理次元を創造

する担当者であるエンソフが答えます。

「私は、地球人にもっと奇跡を体験してもらったらよいかと思います。

人々が自然界の素晴らしさや神聖さに目覚める事が第一だと考えています。

この宇宙が、素晴らしい愛で満ち溢れている事、素晴らしい光で照らされている事。

そして、人間もその一部であるという事に気づいたならば、人々はこの宇宙に対して謙虚になり、宇宙の真実を求めるようになるのではないのでしょうか。」

エンソフが考えている事は、とても素晴らしい事です。

「たしかに雄大な自然や神秘的な光景を見る事で、私達の意識は大きく変わる事があります。

宇宙の偉大さに目覚める時はまさにそのような時ですが、旅に出る事もできず、生活に追われている人々にとって、もっと身近な奇跡の体験はありませんか。」

エンソフは笑みを浮かべて話します。

「それは今、TAKESHI さんが経験している事です。

体の病気やけがが奇跡的に治癒する事を通して、人々は人間の生命の不思議さに触れ、新たな意識に目覚める事が出来ます。」

たしかに、エンソフの言うとおりです。

前回襲った腹痛の翌日、私は体の事が気になって病院で精密検査を受けたところ胆嚢結石が発見され、痛みのそのもの原因は結石による疝痛である事が分かったのです。

医者は、胆嚢結石は、手術で胆嚢そのものを取りのぞくほかはないと私に宣告しました。

たしかに、胆嚢結石の効果的な治療は手術しかないので、私もすぐに手術しようと思ったのですが、先日天の川銀河でも最高の医療技術を持つクワトロ星人が現れていますので、私はいったん手術を延期して、クワトロ星人達の医療にかけてみようかと思っていたのです。

もちろん結石による疝痛は辛いので、お肉や油を使用した料理は避け、胆石に良いものを中心とした食事に変え、毎日自分の体にデバインライトヒーリングを行っています。

そして時折、クワトロ星人の母船に入り、ヒーリングを受けているようです。

たしかに、そのような方法で、短期間で胆石が消失したら、素晴らしいですね。

これも地球人にとっては、素晴らしい意識進化の役に立つ事となるでしょう。

しかし、多くの人が、このような方法で奇跡を体験するには、9月のファースト・コンタクトまでには時間が短すぎます。

そこに「輝きの創造主」が話しかけてきました。

「輝きの創造主」は私達のスピリット体の一つであり、今回地球のアセンションに向けて、創造主の子供を物理次元に降ろしていく予定を持っています。

「私は、これから光の世界に行く人々は、通常から言葉に頼らないコミュニケーションを持つようになりますが、そのひとつがテレパシーです。

特に母親と出産前の子供達、あるいは生まれたばかりの子供達は、未だ意識が一つにつながっていますので、テレパシーで会話する事が出来るはずです。

もし、お母さん達の間にもそのような事が起こ

ってくれば、人々は人間の持っている潜在能力に目覚めてくるはずです。

そして生命の大切さ、生命の素晴らしさを通して、人々が宇宙意識を持ちはじめるのではないのでしょうか。」

「輝きの創造主」の話を静かに聞いていたアシユタールのエレナさんが、深く感じ入ったような表情で答えます。

「確かに、「輝きの創造主」様が言われた事は、非常に的を射ていると思います。

母親と子供という最も身近でどこにでもある関係を使って、人々の意識を高める事が出来るとすれば、それは、自然災害のように多くの人々を犠牲にする事もなく、また奇跡のように一過性の物でもなく、継続的に人々を意識進化へと向ける事が出来る最良の方法であると私には思われます。

しかも、これから起こるアセンションの後には、人々はテレパシーで会話をする事になりますので、新しい世界を生きていくための予行練習にもなります。

本当に素晴らしいご意見をありがとうございます。

私達は、この意見をさっそく皆さんと話し合い実行したいと思います。」

「輝きの創造主」の意見に多くの人が満足げな顔をしています。

特に聖母マリアも喜んで話します。

「確かに、現在の地球では母親と子供の関係がとても希薄になっているように思えます。

子供の心の声が母親に届いていない事も確かです。

そのために多くの子供たちが傷つき、苦しん

でいます。

もし、母親と子供達、もちろん父親もそうですが、心の声で深くつながる事が出来たら、地球のアセンションにとっても非常に重要な進化をもたらす事が出来ると思います。」

たしかに私の周りでも、母親と妊娠中の子供がテレパシーで会話するという事が現実として起きています。

母と子のつながりが、人間の意識進化に役に立つとすれば素晴らしい事ですね。

PART3 スターピープルの存在を明らかにする事

ファースト・コンタクトを控えて、光の世界へ向かう人に対する個人的なコンタクトの方法が検討されていますが、ひとつ問題なのは、このような事が私達の周りに起こるとしても、それがどれほどスターピープルとの関連性を確かなものにしてくれる事が出来るのかという事です。

私は、スターピープル達に素朴な質問をしてみました。

「確かにいくつもの方法が検討されてきましたが、ファースト・コンタクトを控えて、スターピープルの存在を明らかにするという意味においては、どの方法も確かではないような気がします。

エレナさんは、スターピープルは、人間達から望まれて出現するという形にしたいといっていました。9月のファースト・コンタクトまでに、スターピープルの本当の目的を理解して、彼らの出現を持つ人々を増やすという事は、なかなか難しいようです。

私は、スターピープルやファースト・コンタクトに関する詳細な情報を HP に載せました。このサイトを見てくれる人が一気に増え、私達の意向を理解してくれるようになると、状況は大きく変わると思いますが、そのためには、私のサイトやスターピープルに対する正しい情報を持つ人がマスコミなどで注目されて、私達の情報が公になる必要があります。

現在、宇宙人や地球外生命体に対する地球での評価や理解は決して望ましいものではありません。

グレイやレプテリアンのように、地球人を脅かしたり地球を支配する事を企んでいる存在達の事ばかりがクローズアップされていますので、地球人は地球外生命体に対して好意的な印象は持たないでしょう。

皆さんが突然現れても、地球人に対する侵略や自分達に危害を加える事が目的だと思われるでしょう。

もちろん光が多い世界では、そのような事はないと思いますが、かといって皆さんの事を十分に理解して好意を持って迎える事が出来るかといえ、それも難しい気がします。」

「TAKESHI さん、まさにあなたが言うように、スターピープル達が光が少ない世界、たとえば光と闇の境界の世界で、現実的に姿を現すとするとそのような事が起こるでしょう。

多くの方は恐怖や不安に駆られてパニックになるでしょうし、国によっては私達に攻撃を仕掛けてくるかもしれません。

私達は、私達を受け入れる事が出来る人々の世界においてしか、現実世界に姿を現す事が出来ないのはそのためです。

私達が現れる直前には、スターピープル達が地球の人々達に対して心理操作を行い、私達を迎え入れるような意識の状態にしていくと思いますが、それもある程度の意識にある人達にこそ有効な方法なのです。

そうしなければ、地球の人々は、私達を神と崇めはじめでしょう。

それでは意味がありません。」

とエレナさんは語ります。

「エレナさんそうですね。

あなたが言うように、地球には特殊なカルト的な信仰があり、空からやってくる神を待ち望むために閉鎖的な生活を自らに強要する非社会的なグループも存在します。

またスピリチュアルな考え方の浸透によって、スターピープル達が来れば、自分達の苦しみや悲しみがすべて解放されると思い、アセンションに依存してしまう人もいます。

しかし、そのような事は、本当のアセンションとは関係がない事ですが、1人1人の意識をしっかりと目覚めさせるための方法がなかなか見つかりません。

私も、10年近くこの活動を行い、ようやく物事の本質に気づき始めましたが、私の仲間達の多くは、その事に気づく事が出来ず離れていった者もたくさんいます。」

「TAKESHIさん、それは仕方がない事です。

たとえ宇宙の光で、あなたと共に活動していたとしても、本人自身が目覚めるための努力をしなければ、あなたと同じ世界にはいけないのです。

多くの人々が、あなたの警告やメッセージの大切な意味に気づいていません。

それは、彼らにも大切な学びが残されているからです。」

「エレナさん、あなたが言う事もよく理解できますが、地球人は、本当に自分の目に見えるものしか信じない習性があります。

そして自分の生活や利益に関わってくるものを常に優先します。

ファースト・コンタクトが起こり、自分達がスターピープルや地球外生命体達に会う事で、自分達の生活や人世がどのように変化するのか、どのようなメリットがあるのか、地球人はよく分かっていません。

あるいは反対に、スターピープルを含めて、地球外生命体に遭遇する事によって自分の身に危険が及んだり不幸な事に巻き込まれるのではないかという恐れがあります。

その為に、地球人はファースト・コンタクトに興味を持たないのではないのでしょうか。」

会議に集まったスターピープル達が困ったような顔をしています。

シリウス人が発言します。

「地球人は、私達と会う事で、私達が持っている様々な分野の理論や技術を使う事が出来るでしょう。

それは、地球の IT や宇宙工学、医療に関する大きな進化となり、地球人を幸福へと導いていくと思いますが、それをまだ明かす事ができません。

人々の意識が或る程度成熟する時を待たなければならぬからです。」

「確かにシリウスの方が言う事ももっともです。

たとえば、どこかでスターピープルと人々が出会う事で、人々に大きな恩恵が与えられ、その人が特殊な能力を身につけたり、突然の意識進化を行う事があれば、さらに多くの人

がスターピープルとの出会いを求めるようになるかもしれません。

地球人にとって、スターピープルは全く未知の存在です。

未知の存在を待ち望むという事は地球人にはあり得ない事です。

あなた方の情報や恩恵をもっと明らかにしていく必要があるのではないかと思います。」

アシュタールのエレナさんが、発言します。

「地球人にしてみれば、そのような考え方も成り立つと思いますが、それはとても危険な方法です。

なぜなら、地球を闇に落とすために活躍しているディセンションしたダークピープル達が、まさにそのような方法を使って人々を洗脳しているからです。

人々に特別な知識と能力を与え、他人にできない事が出来るようにする。

その結果、その人は他人を支配し、多くの名声と利益を得ますが、その名声と利益の引き換えに、自らのスピリットを失っていくのです。

私達は、同じ方法を取るわけにはいかないのです。

そうしなければ、地球を闇の世界にディセンションさせてしまうかもしれないのです。」

スターピープル達も創造主達も沈黙しています。

「スターピープルが、この地上に現れるという事は、とても大きなエネルギーが動きますから、そこで全ての事が決まってしまうといってもいいのです。

人々のいくべき世界は、2015 年までに、すでに決まっているようです。

これからは、決められた世界に自らが行くための準備期間です。

個人的であってもファースト・コンタクトを受け止める人達は、すでに決まっていますので、私達はその人達をもっとしっかりとフォローしていく必要があるのです。」

ファースト・コンタクトに関する話はなかなかつきませんが、私達は今まで行っていた天使と共にスターピープル達が、光の世界に行く人々にコンタクトするという方法に加えて親子のテレパシー会話を進める事で親子の意識を高めるという方法も実践する事にしました。

そして人々に奇跡を与えて目覚めさせるという方法も、エンソフを中心として、スターピープル達のグループを作り、実践する事にしました。

どちらにしても、あと3か月後には大きなイベントが待ち構えています。

地球に生きる人々は大きな変容を迎える事になるでしょう。

○物理世界に関わる創造主の階層
 (下に行くほど低くなる)

	光の創造主 闇に落ちた創造主
第1評議会のリーダー	光彩の創造主
多次元宇宙の創造主評議会	全ての宇宙を作り出す創造主 真眼の創造主 記録の創造主 愛の創造主 予測の創造主 均衡の創造主 根元の闇の創造主達
	全ての宇宙に働きかける創造主 全ての闇の宇宙に働きかける創造主
	全ての創造主を見守る創造主 全ての闇の創造主を見守る創造主
	始原の創造主 すべてのゲートを管理する創造主
	全ての世界のエネルギーを生みだす創造主 全ての世界のエネルギーを見守る創造主 論理の創造主 理想の創造主 制約の創造主
	創造主を生みだす創造主 創造主の世界をうみだす創造主

	<p>主</p> <p>創造主を守護する創造主</p> <p>闇の創造主を守護する創造主</p>
	<p>全なる光の創造主</p> <p>光と闇を調和させる創造主</p> <p>全なる闇の創造主</p>
	<p>全ての母性を司る創造主</p> <p>時代を司る創造主</p> <p>すべての判断を見守る創造主</p>
	<p>光りの楽園の創造主</p> <p>新時代の公正さを司る創造主</p> <p>愛と覚醒の創造主</p> <p>新時代を司る創造主</p> <p>愛と慈しみの創造主</p>
	<p>全ての創造主の母親の創造主</p> <p>すべての世界の秩序を作る創造主</p>
創造主評議会	<p>全てを創造する創造主</p> <p>神々を生みだす創造主</p> <p>女神を生みだす創造主</p> <p>全てを創造するワンス創造主</p> <p>創造主の創造に許可を与える創造主</p>
	<p>空間を生みだす創造主</p> <p>位置を定める創造主</p> <p>宇宙のひな型を作る創造主</p> <p>創造主に学びを与える創造主</p> <p>楽しみを与える創造主</p>

	<p>完全なる太陽の創造主</p> <p>完全なる月の創造主</p> <p>全ての星を生みだす創造主</p>
	<p>全ての愛の源の創造主</p> <p>全ての光と闇を生みだす創造主</p> <p>完全なる真実をつかさどる創造主</p> <p>すべての者を神聖さに導く創造主は闇の創造主を作るー光を飲み込む創造主、幻影の創造主、殺戮の創造主、情念の女神</p>
5人の創造主	<p>○審判の創造主</p> <p>○天使を生みだす創造主</p> <p>○宇宙の時を生みだす創造主</p> <p>○進化を促進する創造主</p> <p>○すべてに叡智をもたらす創造主</p>
	<p>全ての世界の創造主</p> <p>全ての世界の源となる創造主</p> <p>完全なる愛と浄化の創造主</p>
	<p>光と闇の創造の創造主</p> <p>始原の創造主</p> <p>アペリコットの創造主</p>
	<p>エンドの創造主</p> <p>再生の創造主</p> <p>希望の創造主</p>
完全ある創造主	完全なる祝福の創造主

造主	完全なる歡喜の創造主 完全なる光明の創造主 完全なる分離の創造主 完全なる創造の創造主 完全なる調和の創造主 完全なる美の創造主 完全なる叡智の創造主
全ある創造主	全なる善行の創造主 全なる愛の創造主 全なる光の創造主 全なる生命の創造主 全なる虹の創造主 全なる陰陽の創造主 ゲートを開く創造主
	虹の光の創造主 融合の創造主 真実の創造主 全てを見渡す創造主 全てを現わす創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
12 神殿に関わる創造主	ソフィア族の創造主
	鳳凰族の創造主

	<p>永遠ある愛の女神</p> <p>黄金の女神 宇宙の意志</p> <p>ダイヤモンドの女神</p>
<p>高次の物理 世界の創造 主</p>	<p>セントラルレース</p> <p>セントラルイエス&マリア</p> <p>モーゼ</p> <p>クリスタルレース</p> <p>デバインマスター</p>
<p>愛の源の世 界</p>	<p>愛の源の世界のマザー</p> <p>エンソフ ウイング</p> <p>アメンラー</p>
<p>物理的な宇 宙を統治す る創造主</p>	<p>ブラフマン 界王</p> <p>各銀河の創造主</p>

光りの世界の区分

○光りの世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

今の地球の光と闇の割合は、およそ光 45%、闇55%、もしくはもう少し闇の割合が多い世界の様です。

この割合の世界では、まだ闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が 50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなります。また学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなくいしそつうができるようになりますので、嘘をついたり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、地球外生命体達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが 70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。生きている人では 70%から 80%が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が 90%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、光の地球の存在として宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。

光が多い地球

光80~60%
地上でスタービブルと共に活躍する平和な世界

光60~53%
宇宙意識に目覚めるための学びの世界

光80~100%
宇宙のマスターとして活躍する非物理的な世界

光53~47%
光りと闇の境界、どちらの世界に行くか決める世界

光30~40%
今よりもはるかに闇が多く犯罪が横行する世界

光40~47%
現在の地球と同じで争いが多い学びの世界

闇が多い地球

光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
50%以下はまだ学びが続く世界

光90%
宇宙の管理
師となるべく
学ぶ世界
争いなどはなく、
自らが愛と光り
になるために
学ぶ世界
ここに入る人は、
地球で起きている
事をすべて理解し、
常に真実を

宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。
争いなどはなく、自らが愛と光りになるために学びを行う。
ここに入る人は、地球で起きている事をすべて理解し、常に真実を

	<p>求め努力してきた人。</p> <p>地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由に平和な者にするために、常に努力してきた人々。</p> <p>この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。</p> <p>人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人。</p>
<p>光 80 % 台 の 世 界 地球に生 きるマス ターの世 界</p>	<p>光90%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、未だ程よいエゴを持ち、生活を楽しみたいと考えて生きてきた人々。</p> <p>この世界では、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う。</p> <p>また地球外生命体達の事を深く知り、彼らと共に働ける人。</p> <p>自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p> <p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。</p> <p>現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアルレベル、現実レベルで行う。</p>
<p>光 70 % 台 の 世 界 物 理 的</p>	<p>常に正義と愛のために生きてきた人の中でも、程よい欲があり向上心がある人。</p> <p>欲望に振り回されず、欲望と感情</p>

<p>な光の地球での指導者の世界</p>	<p>を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。</p> <p>地球外生命体の事を理解し上手に付き合う事ができる人</p> <p>この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、学びを行う人達が入る世界。</p> <p>少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。</p> <p>ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>いくつかの世界に分かれる光りの地球に、それぞれが配置され、世界を守護していく。</p>
<p>光60%の宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。</p> <p>しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分にその事が実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。</p> <p>周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなく地球外生命体達の事もよく知らない人達が、そのための学びを行うための場所。</p> <p>この世界ではおおきな争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>

	<p>少数民族でも、あまり物質社会を経験していない素朴な人達がいく世界。彼等はここで更なる学びを行う。</p> <p>この世界に入れる人は、この地球でもまだわずかです。</p> <p>この世界に入ると、今迄の地球とは格段と異なる世界に来たという事が分かるでしょう。</p> <p>どうかこの世界に入れるように努力してください。</p>
<p>光60% ~53% の世界 光りが多 い学 び の世界</p>	<p>ここから上が光の世界です。</p> <p>今の地球よりはさらに光がある世界で、今よりは、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、お互いを思いやる事が普通にできる世界。</p> <p>今の世界よりは、愛と調和に満ち、人間同士の争いや自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく。</p> <p>ここに行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れない。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れない。</p>
<p>光53% ~47% の世界 光と闇の 境界の 世界</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>まだ行く先が決まっていない人や普通に生きてきた人達は这个世界に入る事が多いようです。この世界からどの世界に行くか決まるようです。</p>

	<p>スピリチュアルな仕事をしている人でも、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40% ~47% の世界 現在の 地球と同じ 学びの 世界</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。</p> <p>光が多い世界に行くための努力をしない人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人は、この世界にそのまま残るようです。</p>
<p>光30% 台の世界 闇が 多い 学びの 世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。</p> <p>戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p>

<p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいなく世界になると思います。</p>
